

令和4年度 南大沢スマートシティ協議会

第3回協議会

2023年2月10日（金） 10:30-12:00

第3回 南大沢スマートシティ協議会

#	議 事
1	協議会の開催概要
2	第2回協議会の振り返り
3	本年度の実証内容
4	社会実装に向けた施策（ICTインフラ構築）の検討
5	南大沢スマートシティ実施計画（Ver 3）の中間まとめ
6	今後の運営体制 ※非公表
7	過年度実証のフォローアップ
8	その他

1.協議会の開催概要

令和4年度の協議会の進め方・討議内容

以下の内容について、今年度は4回を目途に協議会を開催予定

#	開催時期	詳細
1	第1回協議会 <8月8日（月）>	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の開催概要 ・実証実験の計画（企画概要） ・実施計画Ver2のパブコメ報告
2	第2回協議会 <11月4日（金）>	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度実証内容と部会の開催状況 ・南大沢スマートシティイベント（オープンハウス）実施概要 ・実施計画（Ver3）改定方針
3	第3回協議会 <2月10日（金）>	<ul style="list-style-type: none"> ・3部会の概要報告 ・実証実験の実証報告 ・社会実装に向けた施策の検討（ICTインフラ構築の検討） ・実施計画（Ver3）中間まとめ ・今後の運営体制 ※非公表 ・過年度実証のフォローアップ
4	第4回協議会 <3月8日（水）>	<ul style="list-style-type: none"> ・部会の検討報告 ・実証実験の実施（最終報告） ・実施計画（Ver3）最終まとめ

本日

※上記の討議内容は、現時点での予定であり、今後の協議会での議論や事業者の技術・サービスの状況等により変更可能性あり

1.協議会の開催概要

(参考) 協議会・部会の開催スケジュール

本日の第3回協議会では主に各部会の検討状況、実施計画（Ver3）の中間まとめ、R5年度以降の運営体制について討議予定

	1月			2月				3月	
	16日-	23日-	30日-	6日-	13日-	20日-	27日-	6日-	13日-
協議会				★2/10 第3回 <ul style="list-style-type: none"> 3部会の報告・実証実験の実証報告 社会実装に向けた施策の検討 実施計画（Ver3）中間まとめ R5年度以降の運営体制 ※非公表 過年度実証のフォローアップ 				★3/8 第4回 <ul style="list-style-type: none"> 部会の検討報告 実証事業最終報告 実施計画（Ver3）まとめ 	
情報・その他 部会	★1/17 第2回 <ul style="list-style-type: none"> これまでの検討状況の棚卸 ICTインフラ構築の目的（提供価値） ICTインフラの全体像の討議 			★2/2 第3回 <ul style="list-style-type: none"> ICTインフラの全体像の定義 ロードマップ策定 実証事業の報告（中間） 等 				★2/28 第4回 <ul style="list-style-type: none"> ICT実証事業の報告（最終） 実施計画の更新 等 	
							ICTインフラの討議		
まちの賑わい部 会	★1/25 第2回 <ul style="list-style-type: none"> 実証事業の報告（中間） 社会実装に向けた施策（サービス）検討 等 					★2/21 第3回 <ul style="list-style-type: none"> 実証事業の報告（最終） 実施計画の更新 等 			
モビリティ 部会	★1/24 第3回 <ul style="list-style-type: none"> 実証事業の報告（中間） 社会実装に向けた施策（サービス）検討 等 					★2/27 第4回 <ul style="list-style-type: none"> ICT実証事業の報告（最終） 実施計画の更新 等 			
							各種サービスの討議		

※上記の討議内容は、現時点での予定であり、今後の部会での議論や事業者の技術・サービスの状況等により変更の可能性あり

2.第2回協議会の振り返り

第2回協議会の振り返り

第2回協議会委員の皆様からいただいた意見を今後の協議会運営に生かしていきます

協議会委員からのご意見

今年度の実証事業

- 電動キックボードについて、安全性の検証について関係者の懸念も多いため安全対策を徹底したうえで実証実験を行う必要がある
- 不特定多数を対象とするデジタルサイネージについてのアンケート実施方法、実施対象に工夫が必要である
- 今年度の3つの実証について、周知広報をどのように実施するのか。3つの実証を一体的に発信していくのが重要であり、見せ方に工夫が必要である

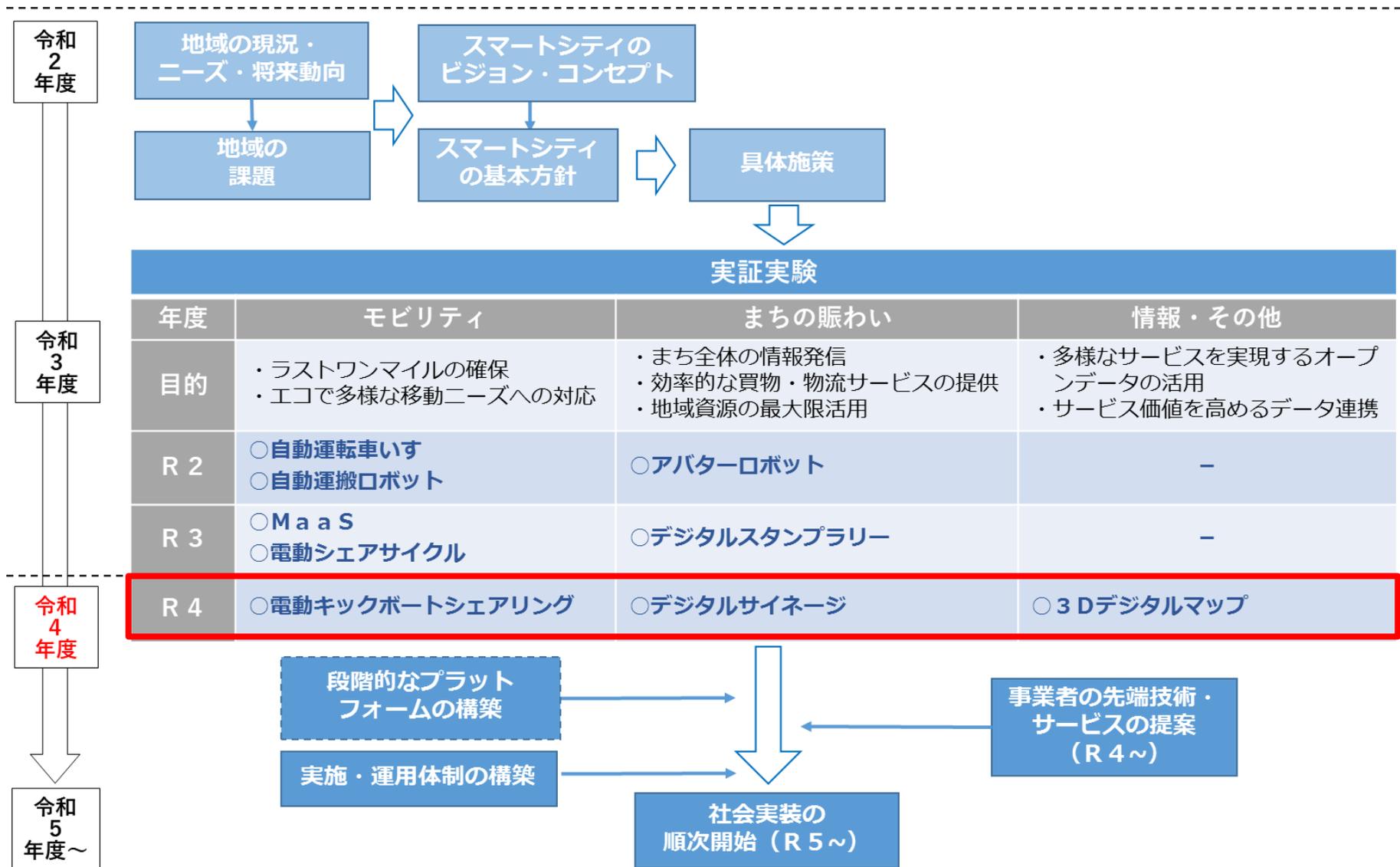
イベント

- 実証だけにとらわれず協議会として検討を進めている南大沢スマートシティが実現するとどうなるのかということを来場者に共有できるとよいのではないかと

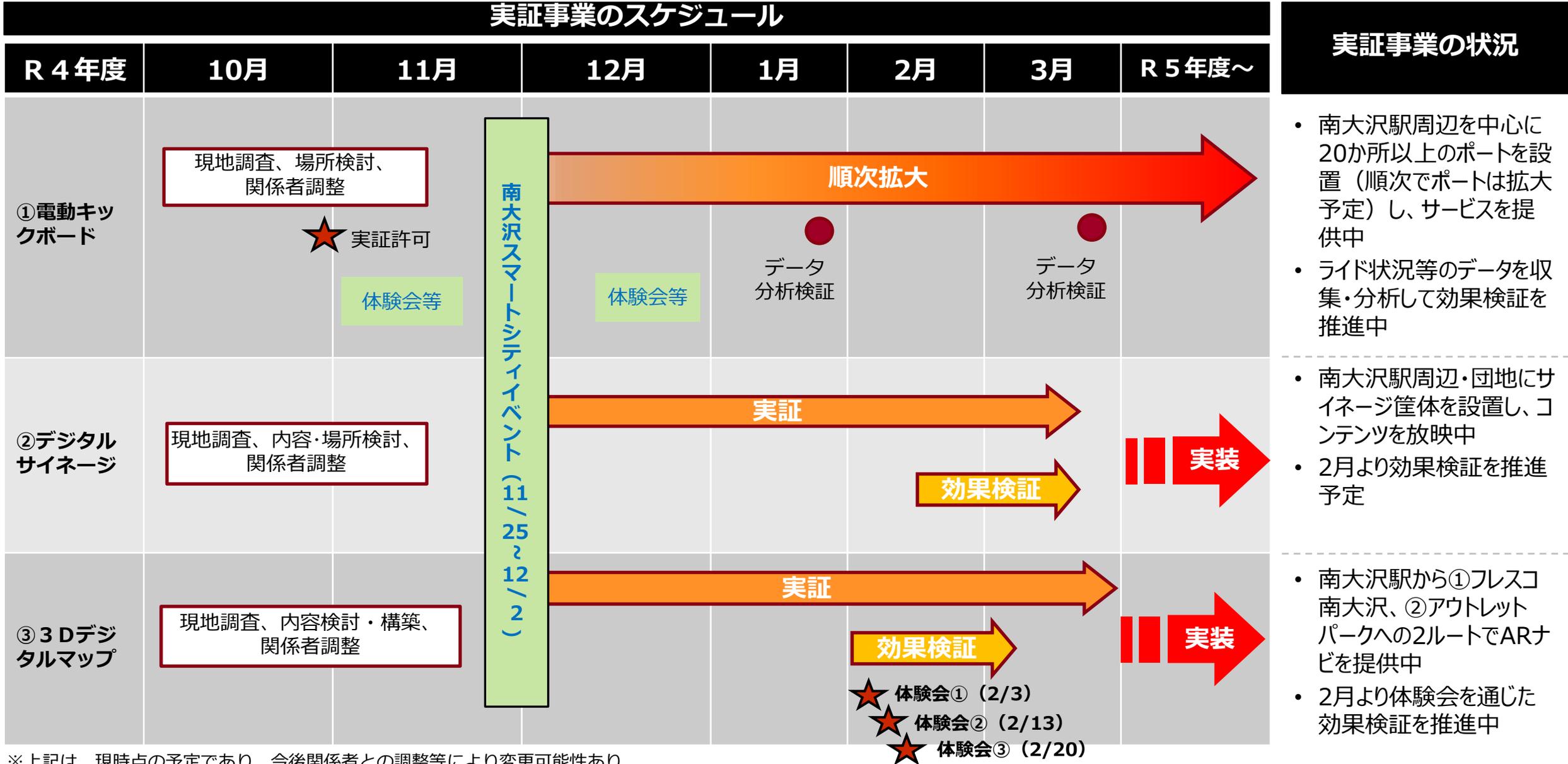
協議会としての対応

- スマートシティウィークイベントをはじめ、試乗体験会をはじめ、安全運転の啓蒙活動・PR等を重層的に行うことで安全性の担保に努める。なお、利用者には承諾書の同意のもとサービス利用いただく。
- デジタルサイネージの検証は、アンケートを中心に、住民、学生、買物客等へイベント等における実施を予定する。また、ビーコン設置による定量的な測定も検討する。
- イベントを周知・開催し実際に体験いただくほか、デジタルサイネージ、協議会ホームページやツイッター、ポスター掲示等による多様な手段により、3つの実証を一体的に発信していく。
- イベント等における実証事業に関する紹介・体験を中心に、これまでの検討内容やそれらを取りまとめた実施計画、作成した動画やリーフレット等も活用しながら展示・説明し、来場者に情報共有を行う。

これまでの検討と実証実験



実証事業の状況・スケジュール



※上記は、現時点の予定であり、今後関係者との調整等により変更可能性あり

3.本年度の実証内容

駐車ポート設置状況

現在稼働中の駐車ポート一覧

【11月稼働開始】

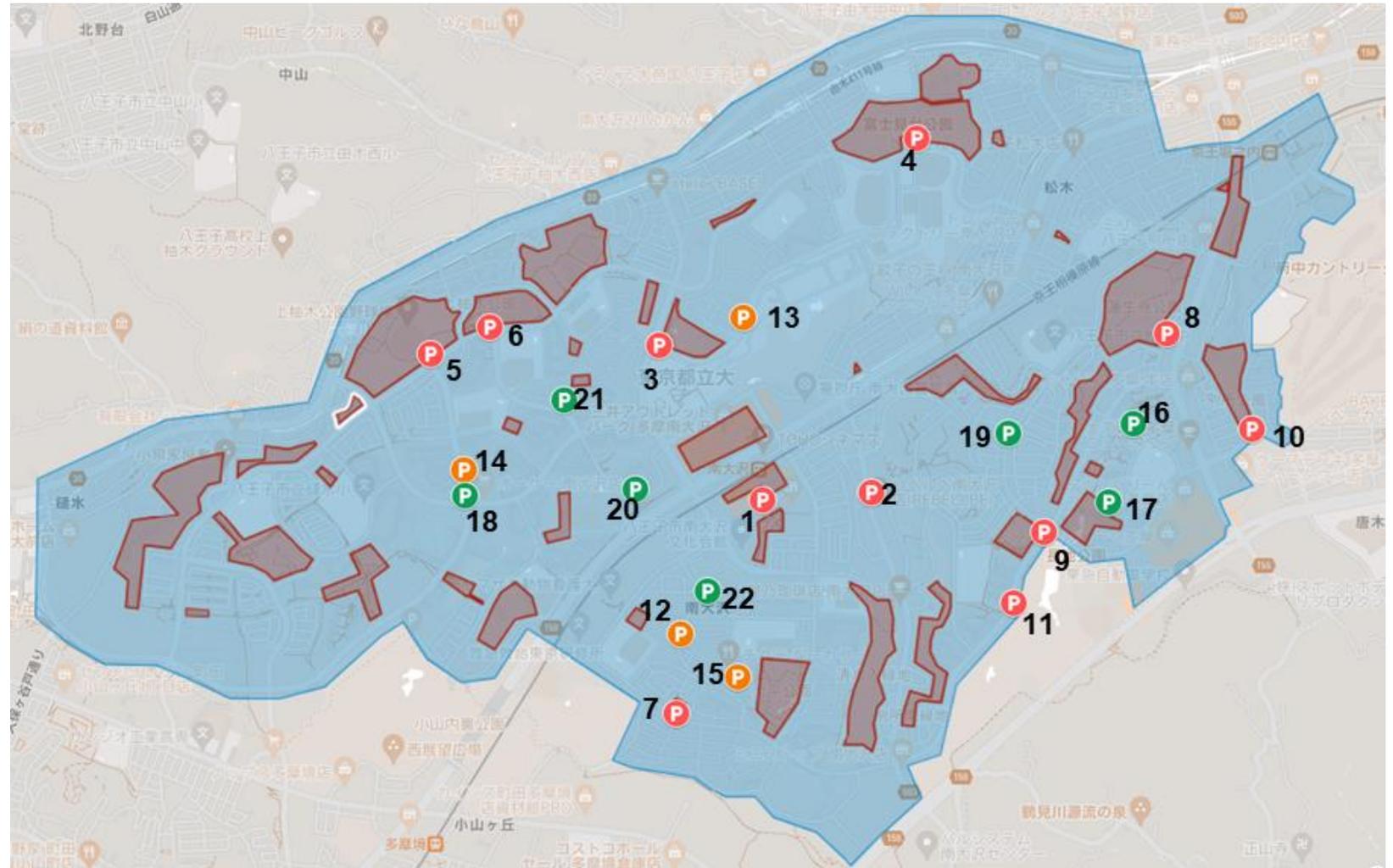
1. ガレリア・ユギ
2. LinNa HEALTHY LIFESTYLE
3. 柳沢の池公園
4. 富士見台公園
5. 上柚木公園 児童遊園
6. 上柚木公園 柘の木歩道橋
7. 九反甫公園
8. 蓮生寺公園
9. 松木公園
10. 別所公園
11. 長池公園

【12月稼働開始①】

12. コーシャハイム南大沢第二
13. コーシャハイム下柚木三丁目
14. トミンハイム上柚木
15. コーシャハイム南大沢

【12月稼働開始②】

16. 長池公園せせらぎ通り北
17. 長池公園せせらぎ通り南
18. グランピア南大沢
19. ビューコート別所
20. ベルコリーヌ南大沢
21. 南大沢学園二番街
22. シティハイツ南大沢



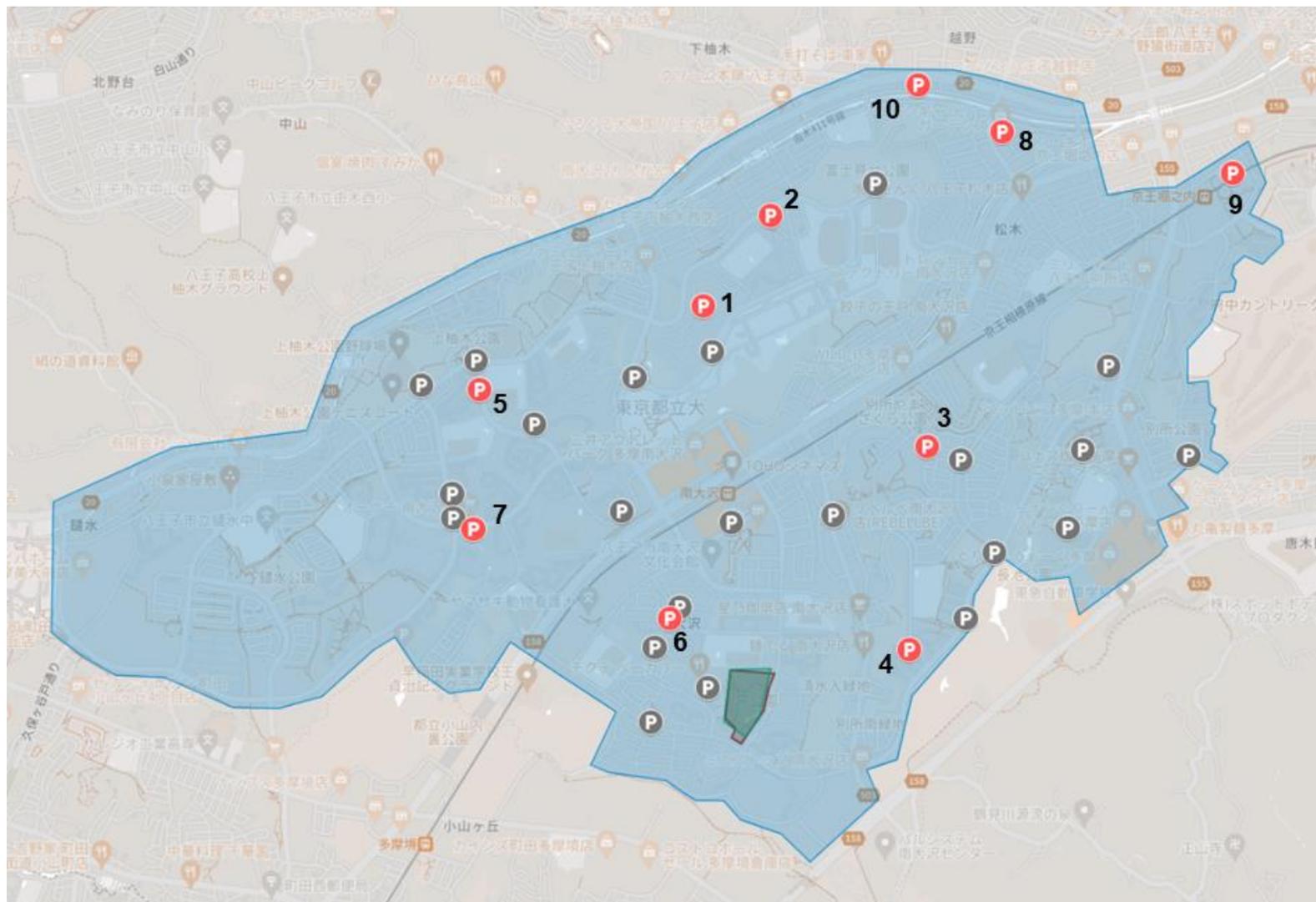
3.本年度の実証内容

(参考) 今後の駐車ポート設置予定

開設予定の駐車ポート一覧

【今後の稼働予定】

- 23. 都営 下柚木団地
- 24. 都営 下柚木第2団地
- 25. 都営 別所一丁目団地
- 26. 都営 別所一丁目第2団地
- 27. 都営 上柚木団地
- 28. 都営 南大沢団地4丁目
- 29. 三徳 南大沢店
- 30. グリーンギャラリーガーデンズ
- 31. トヨタS&D西東京 八王子堀之内店
- 32. トヨタS&D西東京U-Car 由木店



3.本年度の実証内容

本年度実証内容について（検証内容）

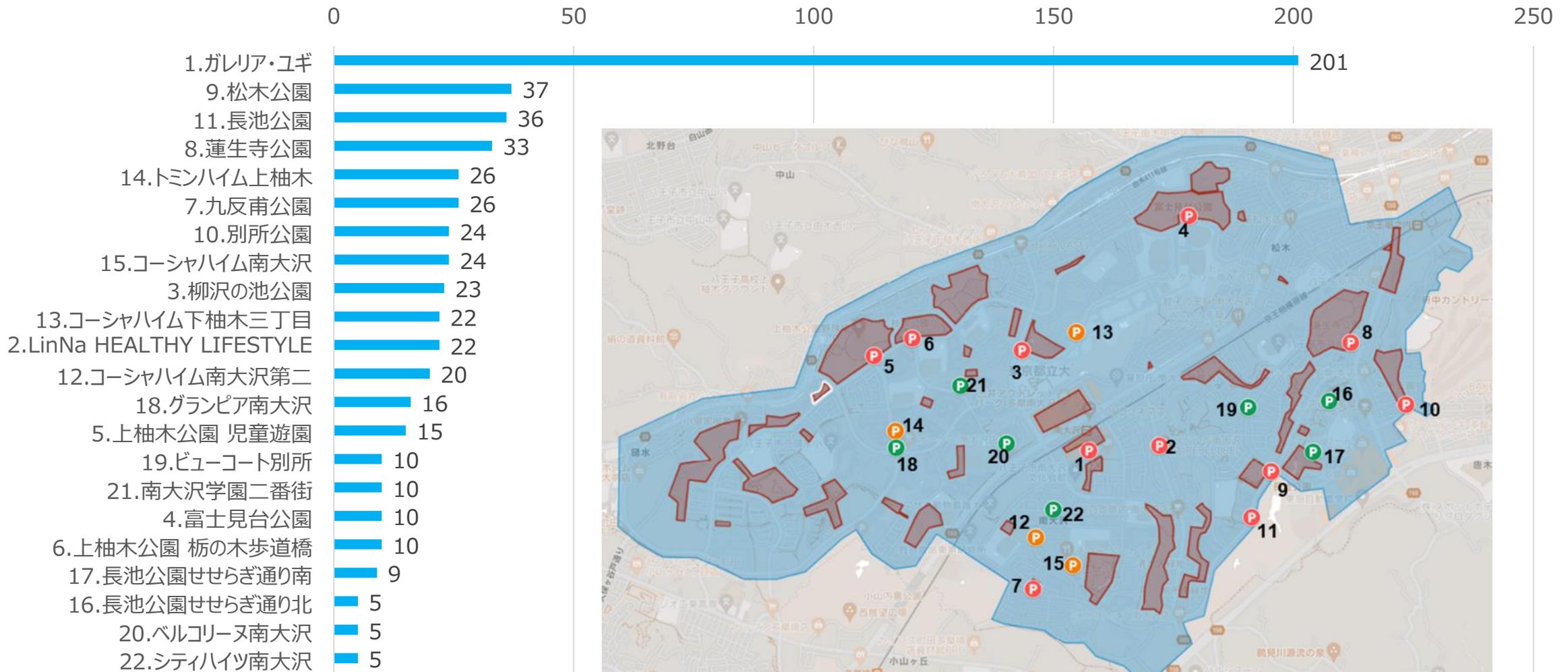
電動キックボードが南大沢周辺エリアの移動課題の解消につながるかの実証をエリア内に30カ所程度の駐車ポートを設置し、実証事業の検証を行う

日程・場所		2022年11月25日～2023年3月24日・南大沢周辺（南大沢・上柚木・下柚木・別所・鑑水・松木）
目的		丘陵地である南大沢周辺エリアでの高低移動の負担軽減、既存の移動手段の補完、エリア内の回遊性向上につながる移動手段として、電動キックボードが受け入れられるかを実証する。
対象者		居住者、通勤・通学者、南大沢駅周辺への来訪者
評価	通勤・通学	駅・バス停までのラストワンマイルの移動手段として活用されるか？
	買い物・回遊	エリア内の商業施設や公園などへの移動手段として活用されるか？
	持続可能性	①サービスの維持・拡大に必要なコストを利用者が許容するか？ ②駐車ポートの設置を継続できるか？
検証方法	通勤・通学	駐車ポート別／利用時間帯別／ライド時間別利用実績・走行ルート、アンケートにより検証
	買い物・回遊	駐車ポート別／利用時間帯別／ライド時間別利用実績・走行ルート、アンケートにより検証
	持続可能性	①利用者（潜在層含む）へのアンケートにより確認を予定 ②事業者・団体へのヒアリング等を予定

3.本年度の実証内容

ポート発着数 (ライド開始ポートランキング)

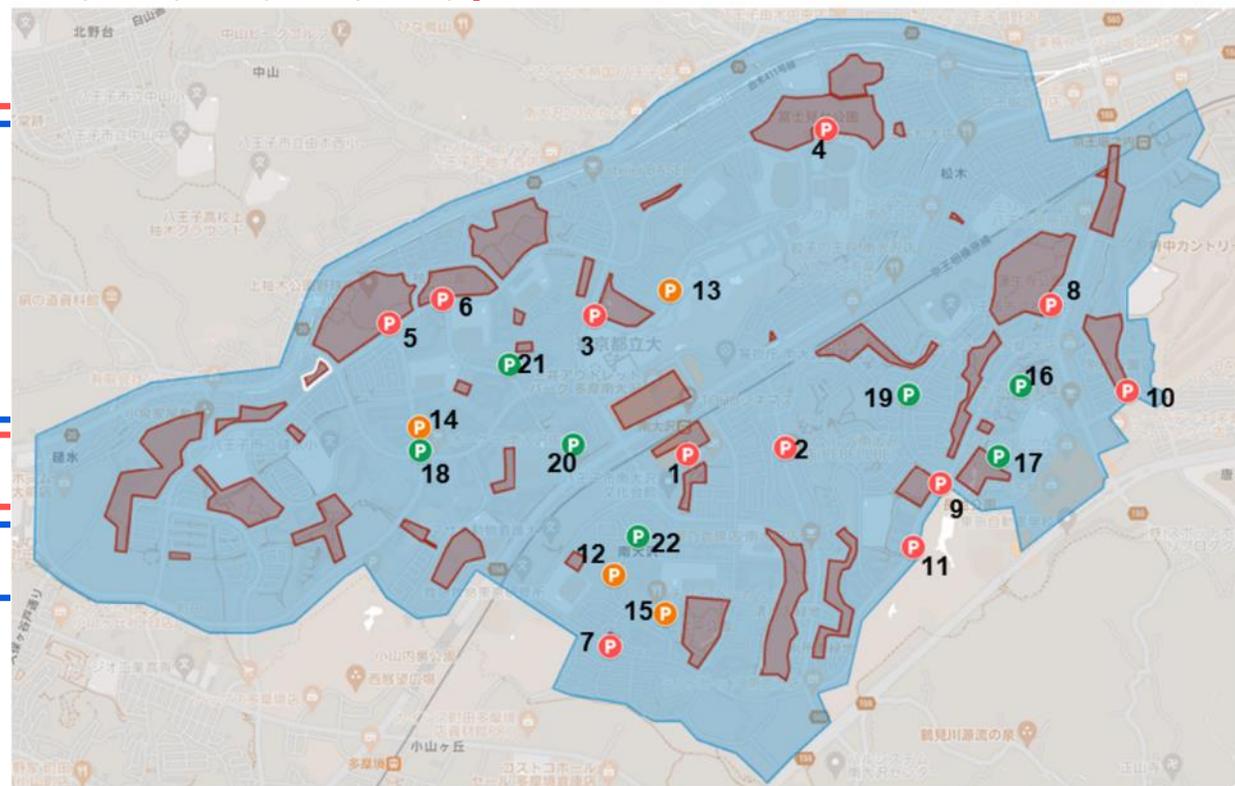
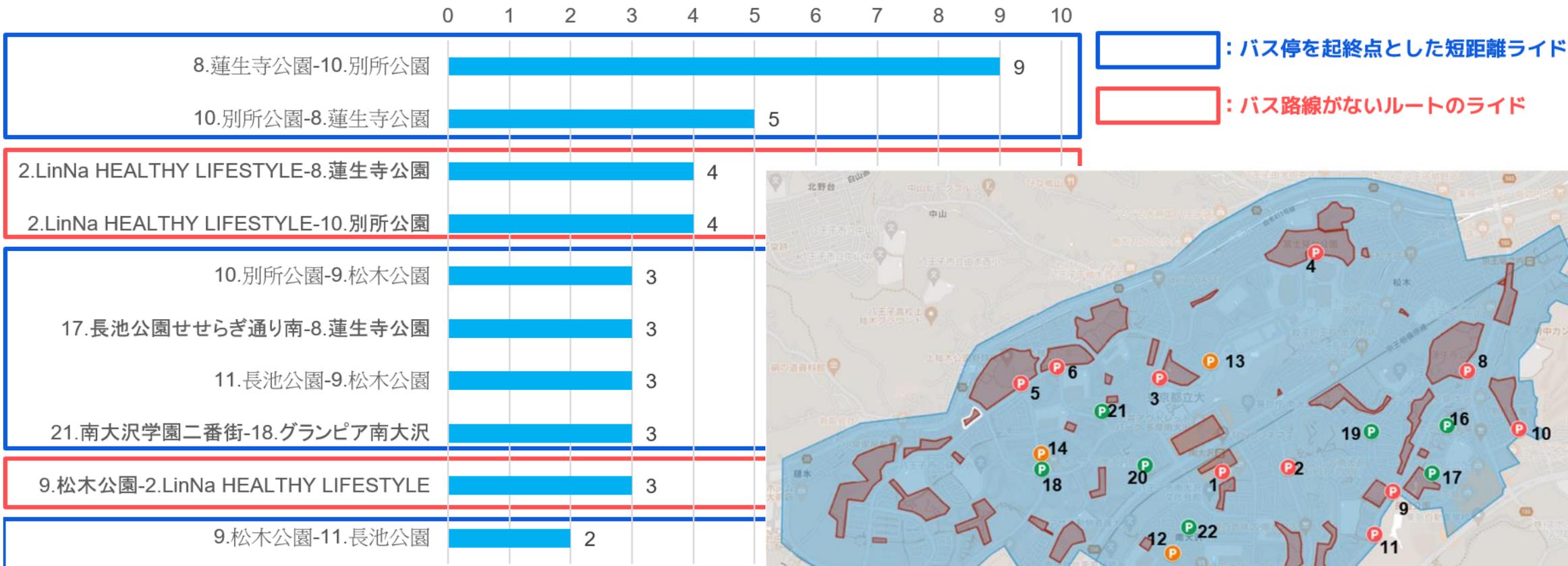
全体の約3割のライドスタートが南大沢駅前のガレリア・ユギであり、その他では、別所・上柚木地区のライドが多い傾向



3.本年度の実証内容

ユーザー・ライド分析 (ガレリアおよび同一ポート間のライドを除いたルートランキングTOP10)

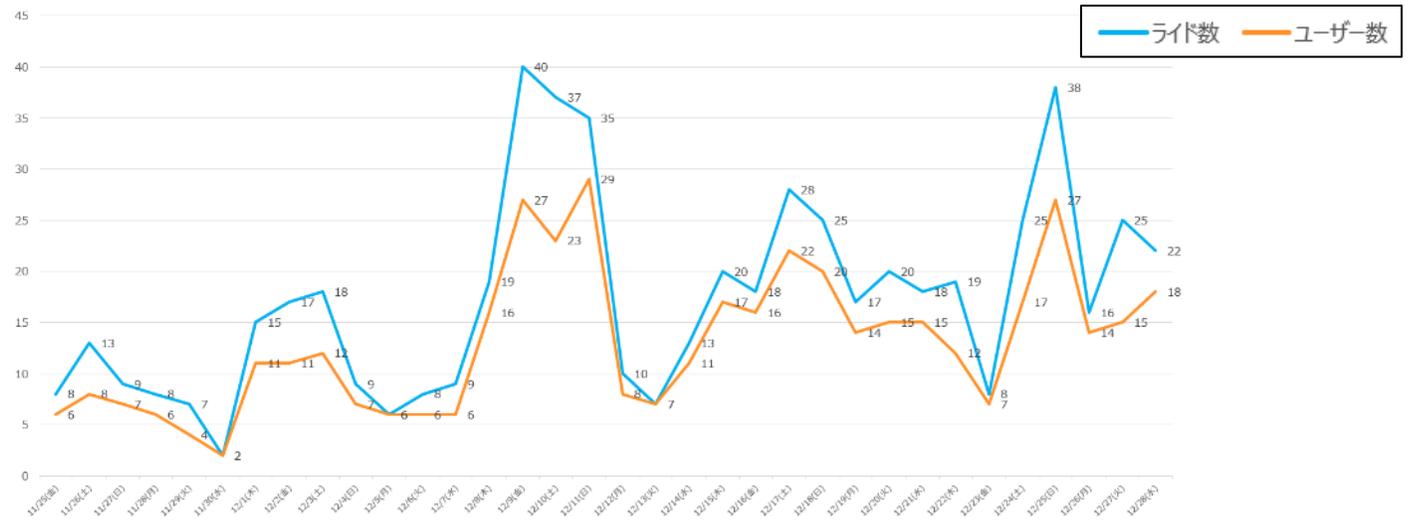
バス停近接の蓮生寺公園・松木公園を起終点としたライドや、バス路線で結ばれていないポート間のライドが多い傾向



ユーザー・ライド分析（日別/時間帯別のライド数）

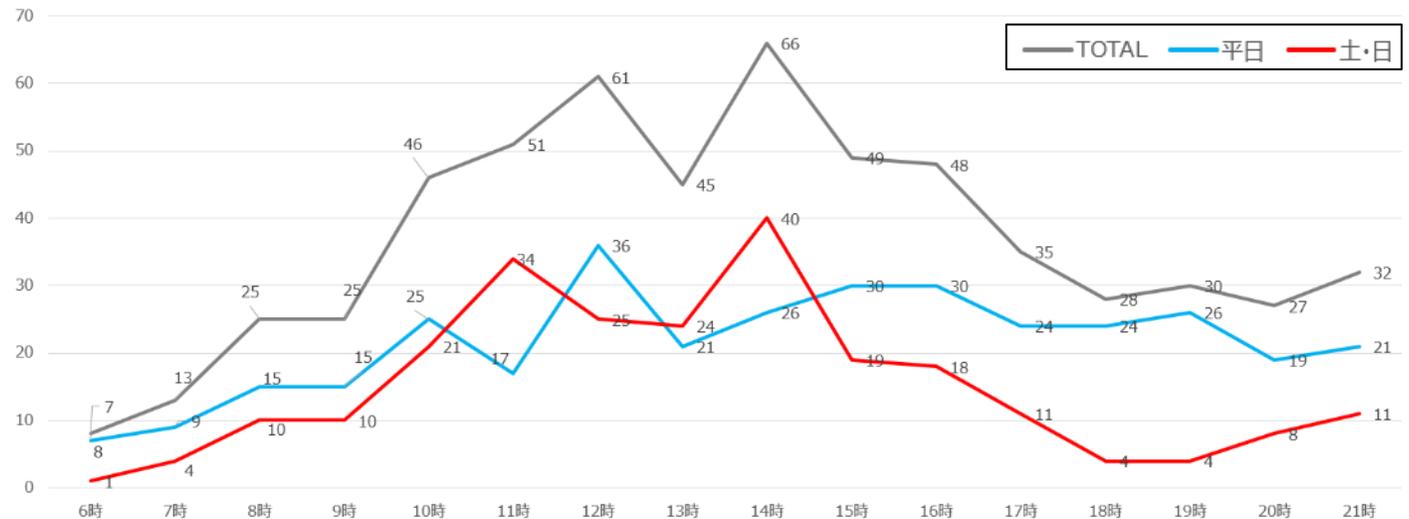
ユーザー・ライド分析 (日別ライド数)

- 週末は複数回ライドするユーザーも多く、週末にライドが増加する傾向



ユーザー・ライド分析 (時間帯別ライド数)

- 平日、土日とも朝の時間帯の利用は少ない傾向、日没後は平日は利用されているが、土日は少ない傾向

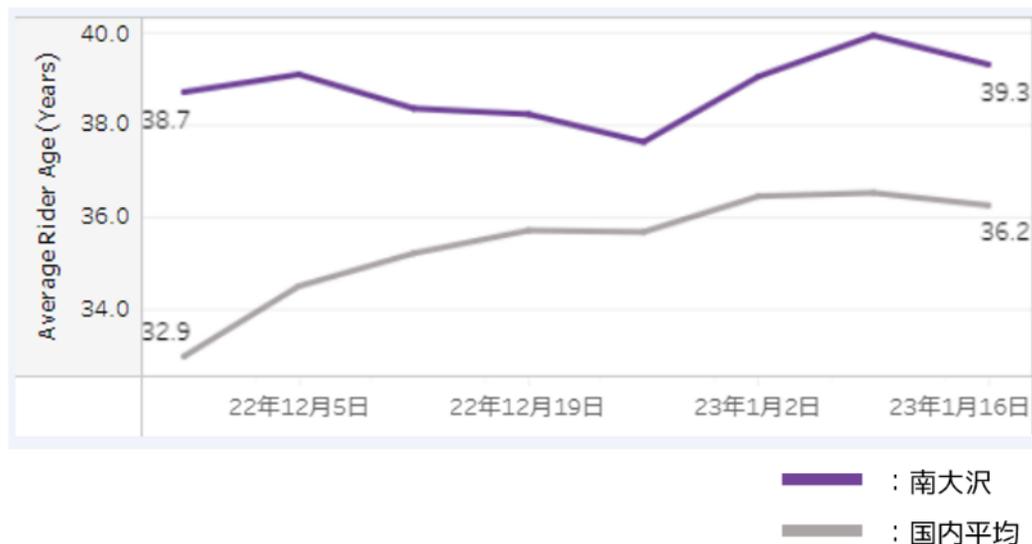


3.本年度の実証内容

ユーザー・ライド分析（ユーザーの平均年齢/時間別ライド数）

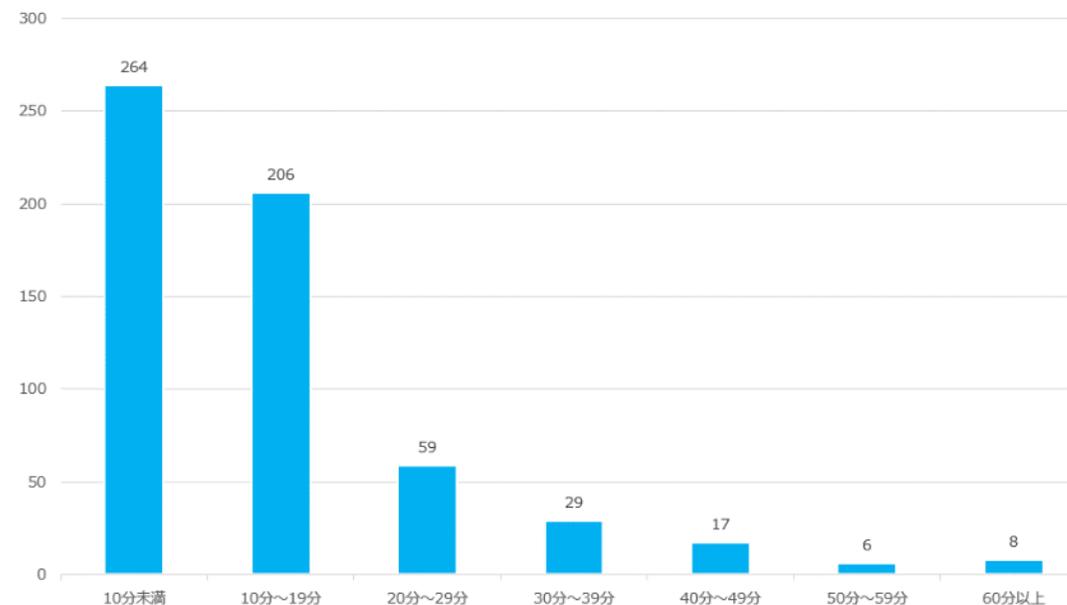
ユーザーの平均年齢

- 平均年齢は、国内平均より3歳ほど高い39.3歳



ライド時間別ライド数

- 20分以内のライドが中心、最長ライド時間は99分



3.本年度の実証内容

(参考) 試乗会の実施

2月4日(土)・5日(日)の2日間、三井アウトレットパークで開催されるJAF交通安全イベントの併催企画として、南大沢駅前の歩道上で試乗会を実施

JAF交通安全イベント「JAFデーin三井アウトレットパーク 多摩南大沢」(東京都八王子市：2月4日・5日開催)

イベント	東京
JAF交通安全イベント！レッカー車もやってくる！	
JAFデー	
イベントスペースにて交通安全イベントを開催！ イベントコンテンツの内容は下記を参照ください！ その他にも★買ってほしい★ アンケートに答えてその場で「コアラのマーチ」が買える！ ぜひお誘いあわせのうえご来場ください！	
開催日時	2月4日(土)・5日(日) 10:00~16:30
開催場所	三井アウトレットパーク 多摩南大沢 (八王子市南大沢1-600) B街区特設会場 > 地図を見る
優待内容	お買い上げ5,000円(税込)ごとに使えるお買物券500円分進呈 (各日先着50名様) ※JAF通年優待(スペシャルクーポン進呈)との併用可(詳しくは下部「通年優待詳細はこちら」より)
利用方法	JAFブースにて会員証を提示ください。(各日先着50名様) イベント開催日のみ通年優待スペシャルクーポンもブースにてお渡し可能です。
対象人数	会員のみ ※お1人様1日1回限り
サービス提供	三井不動産商業マネジメント株式会社
関連リンク	> 三井アウトレットパーク多摩南大沢の公式HPはこちら
駐車場	有



三井アウトレットパーク外観



【その他のイベントコンテンツ】

子ども安全免許証の発行



★お子さま連れに大人気★名前と写真入り！
交通安全クイズに答えて、運転免許証をつくりのカードを無料で発行します。

JAF ロードサービス車両の展示



★記念写真を撮ろう★JAFレッカー車が入り！
交通安全クイズに答えて、運転免許証をつくりのカードを無料で発行します。
お子さまは、ちびっこロードサービス隊員になって記念撮影も可能です！

交通標識ビンゴ大会



★豪華景品が当たるかも★標識ビンゴ大会を開催！道路標識がビンゴカードに！楽しみながら交通ルールを学ぼう！

JAFお兄さんの交通安全のおはなし



JAFお兄さんの「こうつうあんぜんのおはなし」

VR体験



VR体験ゴーグルによる自家車確認体験ができます！

陸上自衛隊『73式中型トラック』展示



通称「11年(いっとうはん)」と呼ばれる重典。
近視眼を帯び、自家隊車両と記念撮影！

ほっほさんのステージパフォーマンス

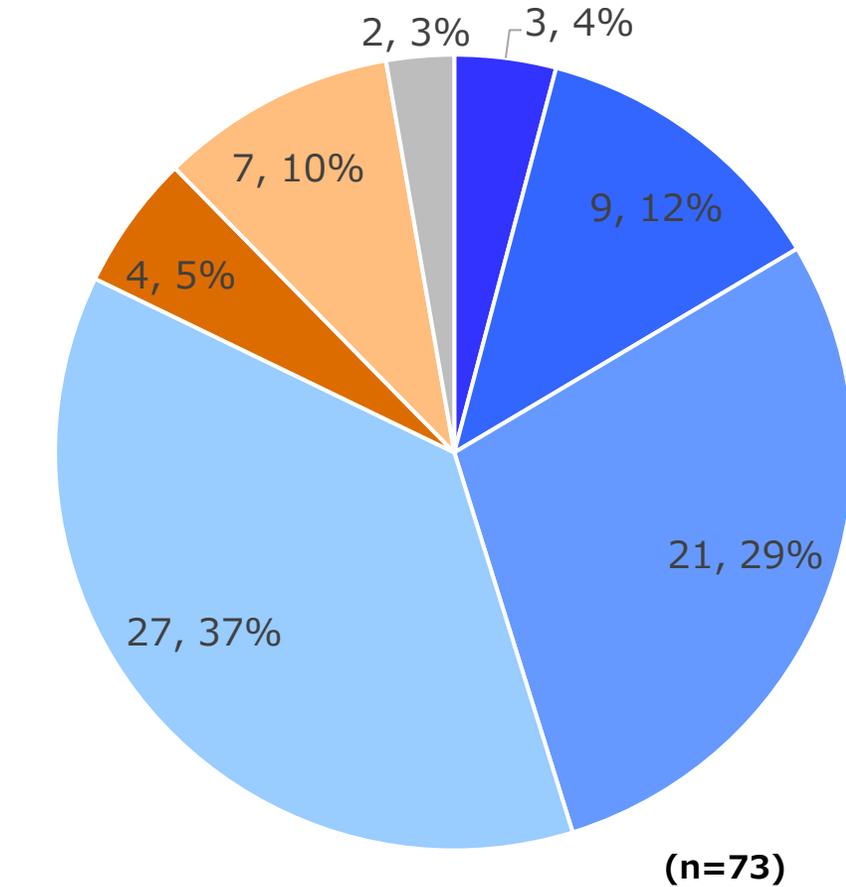


★パフォーマンスショー★ヒロの「ほっほさん」がゲストで登場！マジック、バルーンアート、ジャグリングなどが飛び出すかはお楽しみ。

試乗会でのアンケート結果 (1/3)

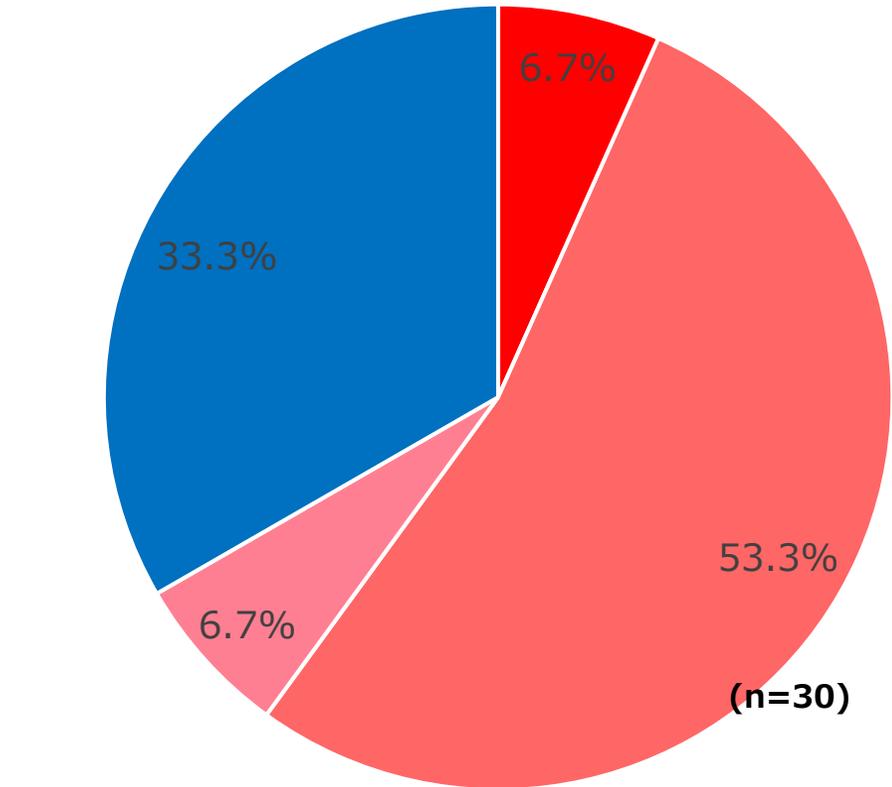
南大沢駅周辺 (南大沢・上柚木・下柚木・別所・鎧水・松木) 居住者においては、約7割がサービスを認知している状況

回答者の年代



- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代

サービスの利用経験・認知度 (SA)



- よく利用している
- 利用したことはないが、どんなサービスかは知っている
- 名前は聞いたことがある
- 知らなかった

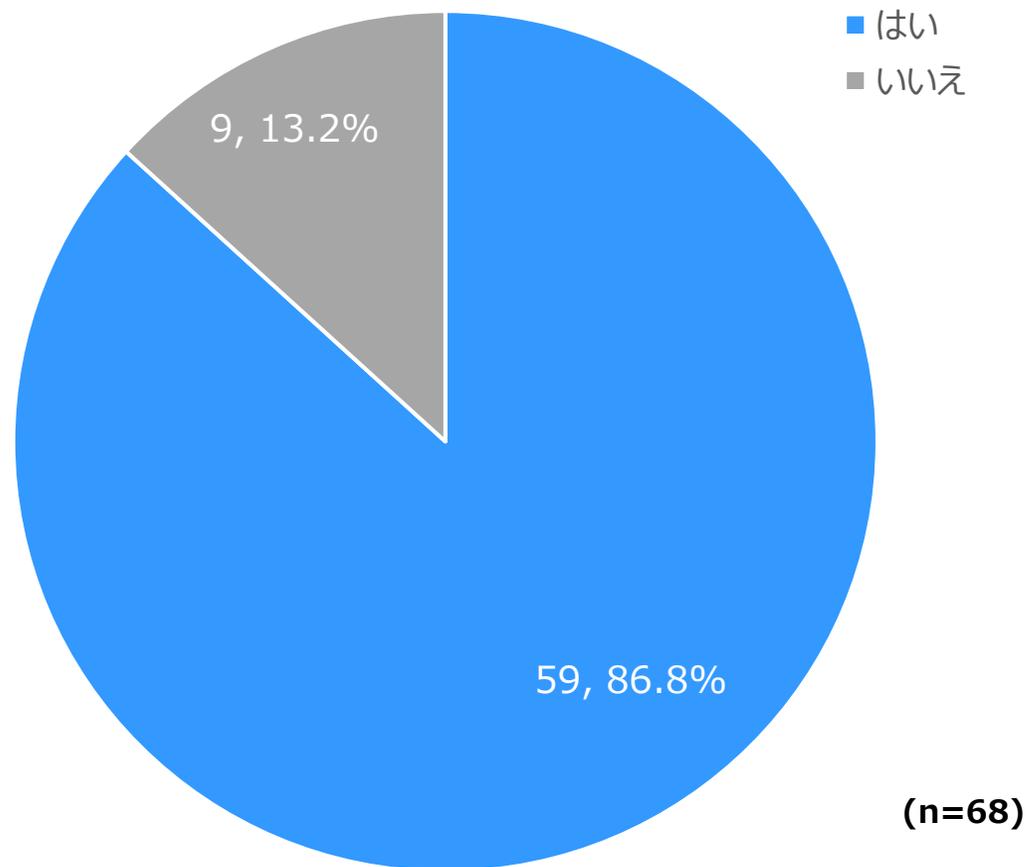
※ 南大沢駅周辺以外の地域 (多摩市部、神奈川県、八王子市 (南大沢周辺除く)、23区内、その他) では約48%がサービスを認知している

試乗会でのアンケート結果 (2/3)

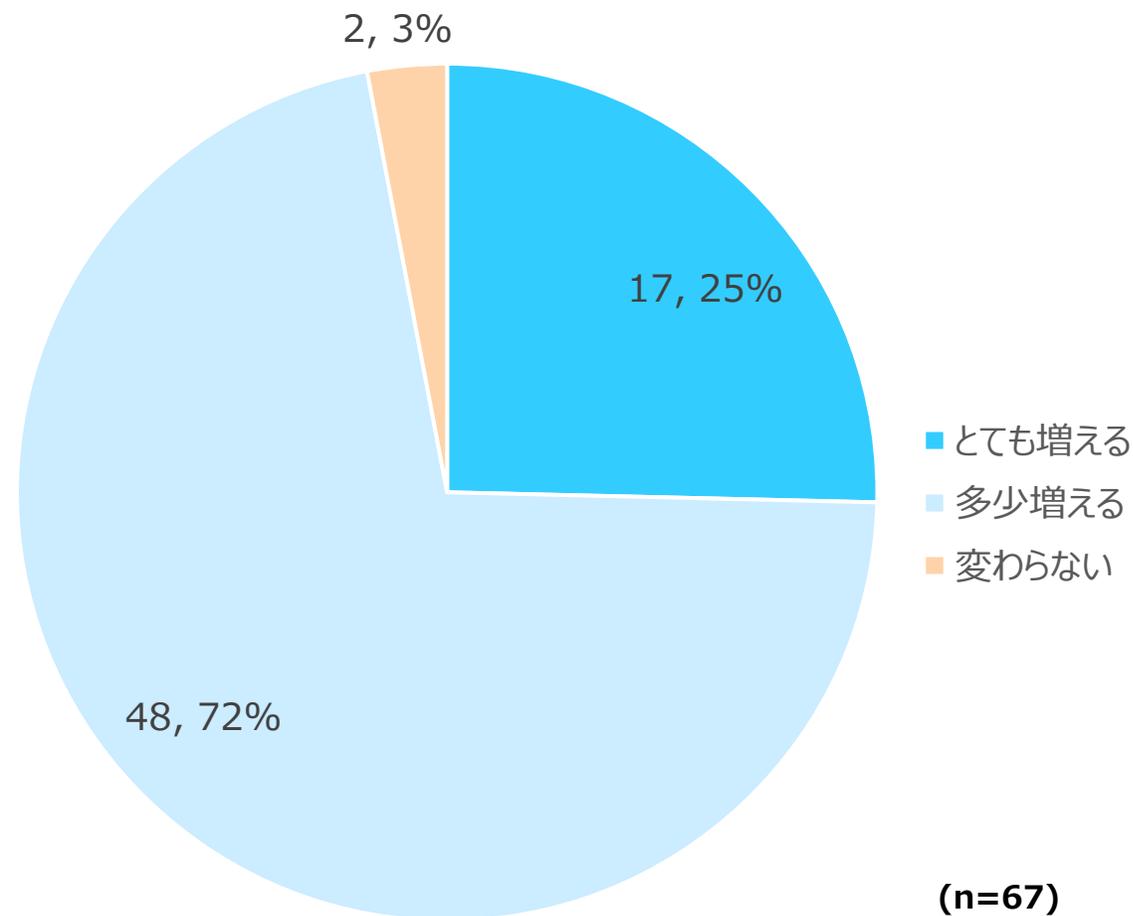
利用してみたい理由は「便利そう」や「気持ちよさそう」が上位。利用したくない理由は「他の乗り物で事足りているから」や「使い方やルール、事故の対応がわからないから」が上位

利用意向 (SA)

電動キックボードシェアリングサービスを利用してみたいですか？



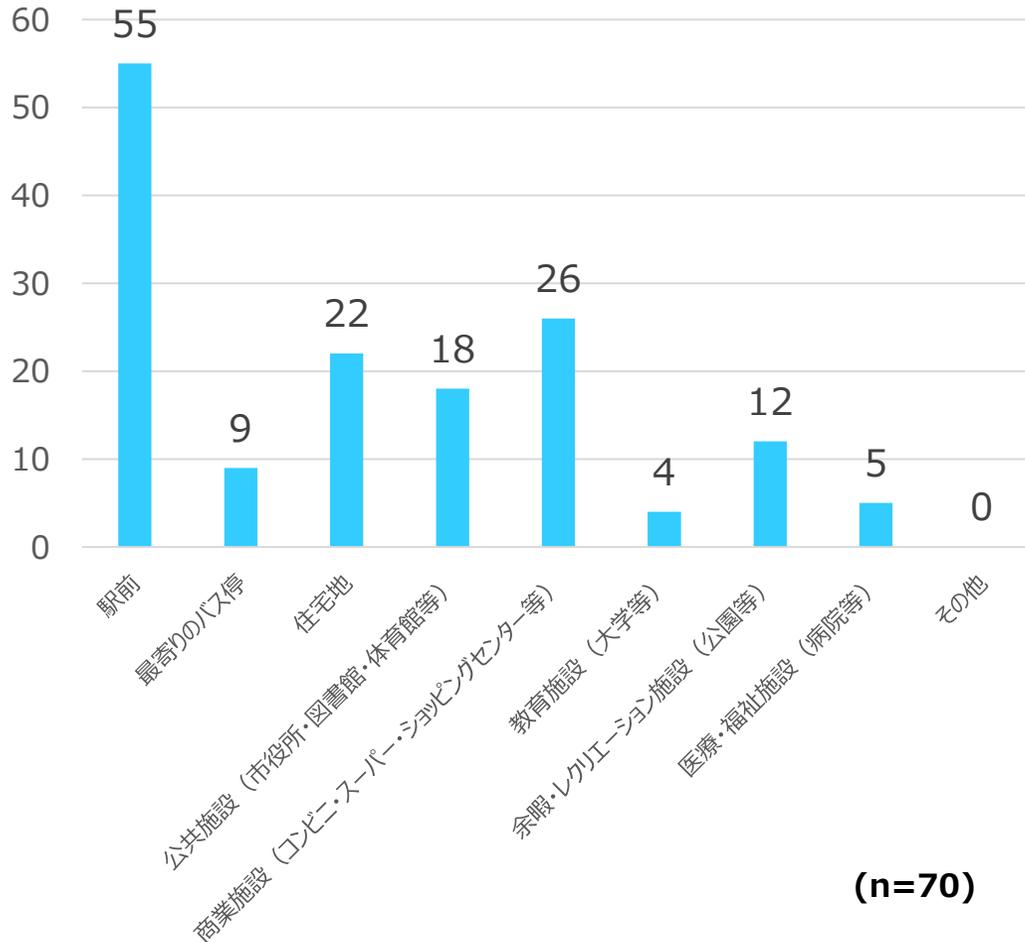
身近な場所や地域全体にポートが増えた場合、利用する頻度は増えますか？ (SA)



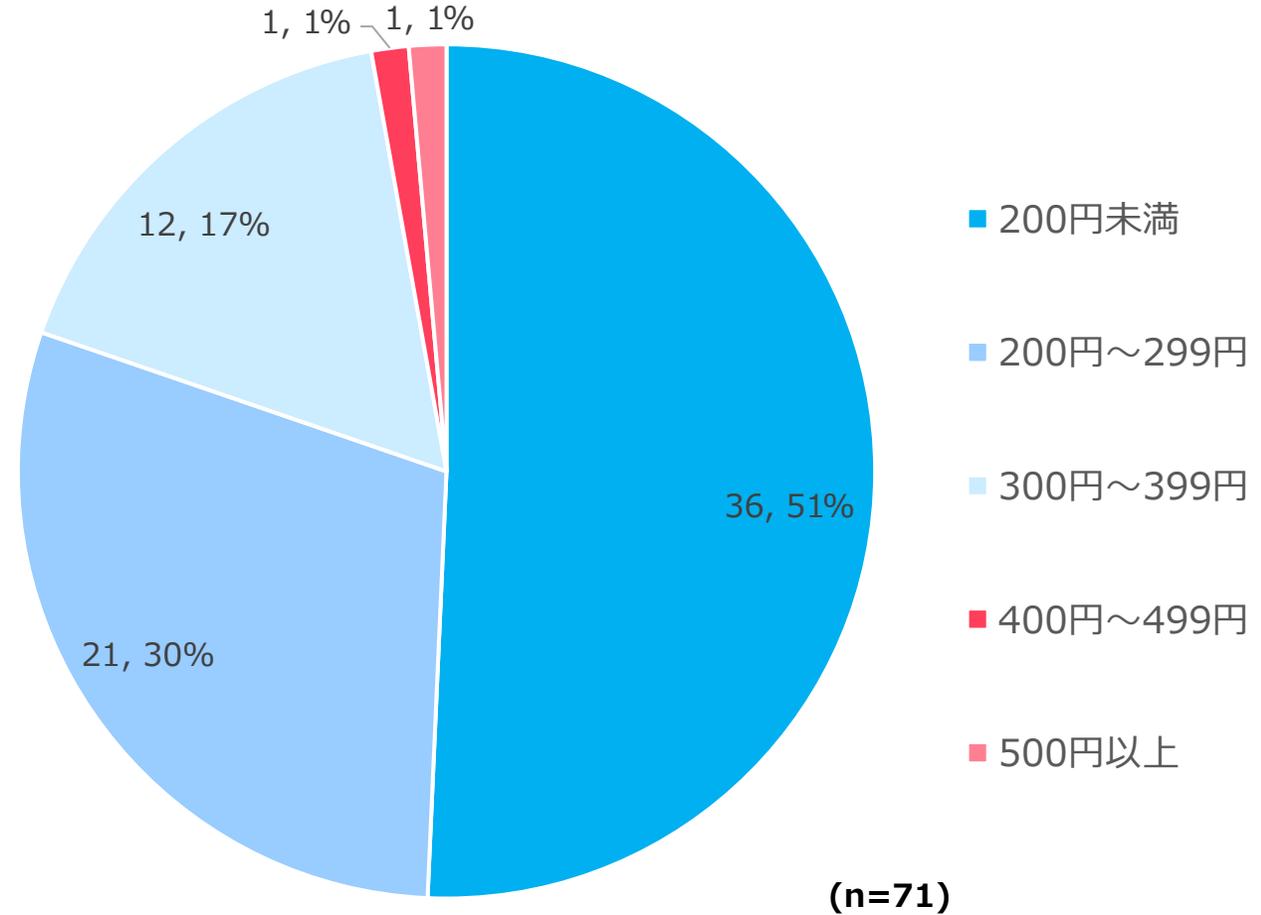
試乗会でのアンケート結果 (3/3)

便利と感じるポートのロケーションについては、「駅前」が突出して上位。また、日常的に利用する場合の金額感としては「200円未満」と回答した数が過半数

便利と感じるポートのロケーション(MA)



日常的に利用する場合の金額感(SA) ※15~20分(2~3km)の移動想定



3.本年度の実証内容

デジタルサイネージの設置状況

駅前エリア、都立大エリア、団地エリアの各施設に筐体を設置済みもしくは設置に向けた最終調整中

設置場所の概要（画像は筐体設置状況の例）



設置先企業・団体	設置場所	台数見込み	筐体サイズ	設置予定日
多摩ニュータウン 開発センター	・ パオレ南大沢（4階エントランス）とガレリア・ユギ（1階入口）に設置予定	2台	LL (大型)	済 11月
JKK	・ トミンハイム南大沢（4台）とコーシャハイム下柚木（5台）の2団地に設置	9台	S10 (小型)	済 12月
京王電鉄	・ フレンテ南大沢の5階・2階に設置	2台	LL (大型)	済 12月
アウトレット パーク	・ A街区の2階に2台を設置	2台	LL (大型)	済 12月
都立大	・ キャンパス内に2台を設置予定	調整中 (2台程度)	S10 (小型)	今後 設置予定
UR	・ URの団地内への設置を予定	調整中 (5台程度)	調整中	今後 設置予定
八王子市	・ フレスコ南大沢への設置を検討中	調整中 (1台程度)	調整中	今後 設置予定

3.本年度の実証内容

デジタルサイネージにおける放映コンテンツ

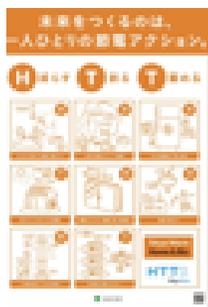
行政情報、防災情報、地域のイベント・コミュニティに関する情報、商業施設のイベント情報を放映

行政情報に関するコンテンツ例

ワクチン接種



HTTポスター



スムーズBiz



南大沢地域のイベント・コミュニティに関するコンテンツ例

地震体験会



平日ちよこつと観察会



いきいき交流の集い



防災情報に関するコンテンツ例

地下への浸水 (全体編)



地下への浸水 (行動編)



防災セミナー



商業施設でのイベント・セールに関するコンテンツ例

ビアホール



キャッシュレス



駐車場優待



3.本年度の実証内容

効果検証概要 (デジタルサイネージ)

地域の生活情報等を住民や買い物客らの導線上に設置したデジタルサイネージから提供することによる利便性の向上や商業施設の集客・回遊性向上を検証

When Where	日程・場所	2023年2月以降に①団地エリア、②都立大エリア、③駅前エリアにて実施
Why	目的	①デジタルサイネージを用いた各種情報の効果的な提供を通じた地域課題解決に関する検証、 ②災害時の情報/電源供給の有効性に関する検証
Who	被験者	南大沢エリアの住民、都立大学学生、商業施設利用者（住民/エリア外からの来訪者）
What 評価	利便性	住民や商業施設利用者のそれぞれに必要な情報を提供出来ていたか？ バッテリーの貸し出しや防災情報等の付加価値を提供出来ていたか？
	地域適合性	地域での生活に求められる情報を提供出来ていたか？ 対象者への効果的な情報発信の在り方における示唆が得られたか？
	持続可能性	サービス維持・拡大のコストや、収益はバランスしているか？
How 検証方法	利便性	・ アンケート・ヒアリング調査：利便性・提供情報に関する確認 ※ビーコン情報に基づく定量分析も実施予定
	地域適合性	・ アンケート・ヒアリング調査：提供された情報に関する確認 ※ビーコン情報に基づく定量分析も実施予定
	持続可能性	・ サービスプラットフォームからのデータ収集：バッテリーの貸し出し状況 ・ アンケート・ヒアリング調査広告掲出のニーズ有無の確認

持続可能性とりわけビジネスとしての継続余地については、筐体の設置先（施設管理者）へ個別にニーズやデジタルサイネージへのコンテンツ掲出を有料化した場合の価格設定などについて、アンケートとは別に、ヒアリングを予定

(参考) アンケート項目 (項目は最終化中)

アンケートは下記の9項目で実施予定 (ネット上でアンケートフォームに回答頂く/事務局にて対象者へヒアリングを予定)

1.あなたの年代を教えてください。*

10代以下
 20代
 30代

基本情報 (年代)

2.南大沢への訪問・居住状況を教えてください。*

居住している
 南大沢駅周辺の施設・大学に通勤・通学している
 月1回程度またはそれより頻繁に行くことがある
 行く機会は少ない。(初めて来られた場合も含む)

基本情報 (南大沢への居住有無)

3.2022年12月から今までの間で、ChargeSpotのデジタルサイネージはご覧になりましたか。*

見た
 わからない
 見ていない

基本情報 (閲覧有無)

4.デジタルサイネージをご覧になった方にお聞きます。どのコンテンツをご覧になりましたか (複数選択可)

地域のイベント・コミュニティに関する情報 (公園やコンサートホールでのイベント情報など)
 東京都・八王子市の行政情報 (防災・ワクチン・節電など)
 南大沢駅周辺の商業施設でのイベント・セール情報
 デジタルサイネージを見ていない
 その他: _____

基本情報 (閲覧したもの)

5.デジタルサイネージを見た結果、意識や行動に変化はありましたでしょうか。* (複数選択可)

デジタルサイネージで案内されたイベントに参加した/参加しようと思った
 サイネージの情報は生活に必要なと思った
 デジタルサイネージの情報は特に印象に残っていない

利便性 (閲覧後の意識・行動変化の有無)

6.デジタルサイネージにより、南大沢での生活は便利になると感じますか。*

思う
 どちらかといえば思う
 どちらかといえば思わない
 思わない

地域適合性 (南大沢に有用か)

7.今後、デジタルサイネージで表示してほしいコンテンツを選択してください。* (複数選択可)

南大沢地域のイベント・コミュニティに関する情報
 東京都・八王子市の行政情報
 南大沢周辺の商業施設でのイベント・セール情報
 防災情報
 交通機関の運行情報
 その他: _____

利便性 (今後放映を求めるコンテンツ)

8.スマートフォンやポスターなどの媒体と比較して、デジタルサイネージによるコンテンツ提供の強みはどこにあると考えますか? (複数選択可)

コンテンツの見やすさ
 充実した地域情報
 南大沢エリア限定でのコンテンツ提供
 リアルタイムでの情報提供
 その他: _____

利便性 (スマートフォンとの差異)

8-2.「8.スマートフォンやポスターなどの媒体と比較して、デジタルサイネージによるコンテンツ提供の強みはどこにあると考えますか?」で選択肢を選ばれた理由をご記入ください。

回答を入力

9.そのほか、南大沢スマートシティ協議会へのご意見がありましたらご記入ください。

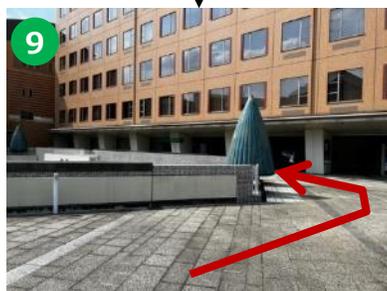
回答を入力

その他 (協議会への意見)

3.本年度の実証内容

本年度実証内容について（フレスコ南大沢までのルート）

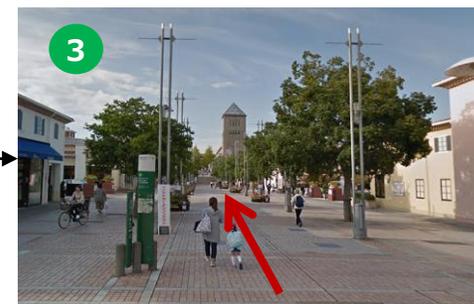
駅前エリアからフレスコ南大沢へのルート案内を、平常時/非常時のシーンごとに、3D都市データを活用したARナビによるバリアフリールートにも着目して実施。※下記のルートは階段利用が困難な利用者向けのナビイメージ



3.本年度の実証内容

本年度実証内容について（アウトレットパークまでのルート）

三井アウトレットパーク多摩南大沢での買い物を目的とした来訪者に対する、施設内目的地までのルート案内を3D都市データを活用したARナビにより実施



3.本年度の実証内容

本年度実証内容について

利用者の属性に応じた容易・安全な移動の実現ならびに従来の地図・ナビと比較した優位性・課題を検証すべく、利便性・地域適合性・持続可能性の3つの観点から実証事業を検証する

When Where	日程・場所 2022年11月後半～2023年2月までで複数回 於 南大沢駅前	
Why 目的 ※1	ARナビによる体験を通じ、利用者の属性に応じた①容易・安全な移動を実現し、②従来の地図・ナビと比較した優位性・課題も検証 ※将来的には南大沢スマートシティの基本方針である地域資源の最大限活用（ARナビを使って施設や公園等に利用者呼び込み回遊させる）や既存交通の補完（複数の交通手段をわかりやすく表示・ナビする）の実現に向けた活用も視野に入る	
Who 被験者	居住者（交通弱者を含む）、通勤・通学者、南大沢駅周辺への来訪者	※2 評価に際してはアプリからデータ取得可能な①アプリのダウンロード数、②アプリの利用回数、③目的地まで到達したか（体験開始～終了までの時刻から類推）についてもデータを取得し、検証に活用
What 評価 ※2	利便性	ARナビの利用が円滑に行えたか？利用に際して何らかの障壁があったか？
地域適合性	ARナビを利用することで利用者の属性（交通弱者等）に応じて移動が快適になったか？利用に際して安全性が担保されたか？南大沢エリアにおいてARナビを活用するにあたって今後こういった利用シーンやルートが望まれるか？	
持続可能性	サービス維持・拡大のコストや収益はバランスしているか？	
How 検証方法	利便性	体験会（後述）を開催し、参加者に対してアンケート・ヒアリング調査を実施 ※体験会以外でARナビを利用した方々へはウェブ上でのアンケート回答を依頼
地域適合性		
持続可能性	本項目は事業者・団体とのヒアリング等で確認を予定	

(参考) 本年度実証内容について (アンケート・ヒアリング調査) (1/2)

12個の質問で、健常者・ハンディキャップを持つ方々の声を収集

1.あなたの年代を教えてください。(必須) *

- 10代以下
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代以上

基本情報
(年代)

3-2.【来訪者の方のみ】どのくらい南大沢に来訪されますでしょうか。(必須) *

- 毎週またはそれ以上来訪する
- 月一回程度来訪する
- 年に数回程度来訪する
- 今回始めて来訪した

基本情報
(来訪者の
来訪頻度)

4.ARナビを利用されたきっかけは何ですか。(必須) *

- 協議会参画団体等からの案内 (AR体験会を含む)
- ホームページ
- SNS (twitter、facebookなど)
- ポスターやチラシ

基本情報
(ARナビ利用
のきっかけ)

5.ARナビはご利用されましたか(必須) *

- 利用した
- 利用しなかった

基本情報
(利用有無)

5-2.利用された方へ質問です。どのルートを利用されましたか。(複数選択可)
(必須)

- 南大沢駅から三井アウトレットパーク南大沢までのルート
- 南大沢駅からフレスコ南大沢までのルート (歩行者向け)
- 南大沢駅からフレスコ南大沢までのルート (バリアフリー向け)

基本情報
(利用ルート)

2.あなたの性別を教えてください。(任意)

- 男
- 女
- 回答しない

基本情報
(性別)

3.南大沢への訪問・居住状況を教えてください。(必須) *

- 居住している
- 通勤・通学
- 出張・業務等
- 買い物等
- 観光等

基本情報
(南大沢への
居住有無)

5-3.利用されなかった方にご質問です。利用されなかった理由をご記入ください。
(必須)

回答を入力

基本情報
(利用しない
理由)

6.下記の利用有無を選択ください。(複数選択可) (必須) *

- 車いす
- ベビーカー
- 歩行補助具 (杖、松葉杖など)
- 上記はいずれも利用していない

基本情報
(移動方法)

7.ARナビによる目的地への案内の満足度はいかがでしょうか。(必須) *

- とても満足した
- 概ね満足した
- どちらでもない
- あまり満足感はなかった
- 満足感はなかった

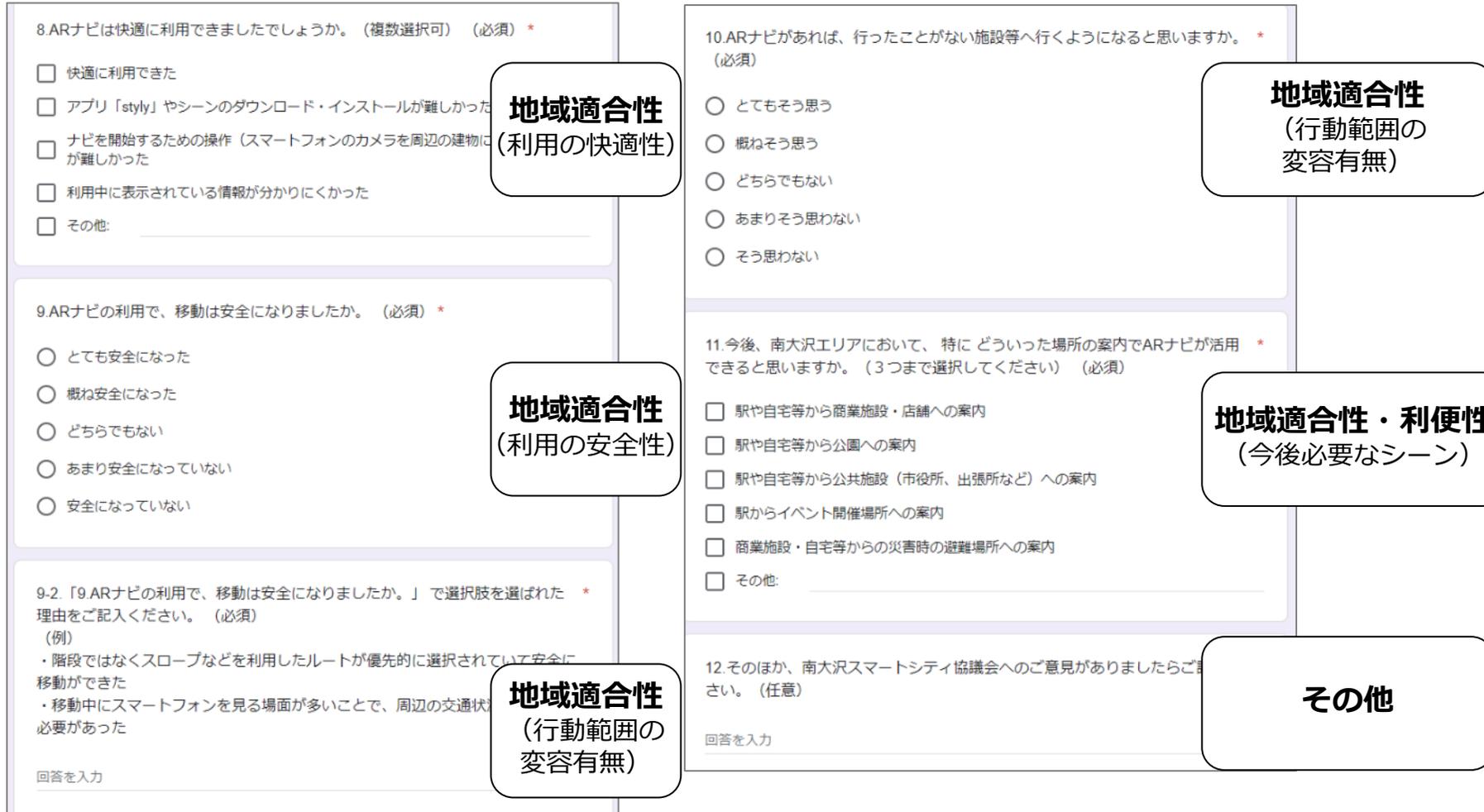
利便性
(サービスの
満足度)

7-2.よろしければ、「7.ARナビの満足度はいかがでしょうか。」で選択肢を選ば
れた理由をご記入ください。(必須)
(例)

- ・経路が矢印などで分かりやすく表示されていた
- ・周辺の施設情報が表示されていた
- ・目的地に到着した際の演出 (花火) が楽しかった
- ・屋根付きのルートや自転車向けのルートが欲しい
- ・表示される施設情報が少なかった
- ・目的地までのルートを知っていたのでARナビを利用する必要性が低い

回答を入力

(参考) 本年度実証内容について (アンケート・ヒアリング調査) (2/2)



(参考) 今年度実証内容について (体験会の概要)

ARナビの体験会およびアンケートを通じた意見聴取を複数回実施予定

<p>実施日</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2月3日(金)、2月13日(月)、2月20日(月)の3回で実施予定
<p>対象者</p>	<ul style="list-style-type: none"> 近隣住民・学生および南大沢以外からの来訪者を想定 ➡社会福祉法人、地元まちづくり団体、都立大、周辺団地等
<p>体験会のプログラム</p>	<ul style="list-style-type: none"> 体験会は60分～90分を想定 想定プログラムは以下の通り <ul style="list-style-type: none"> (1) 実証事業の目的およびARナビのご紹介 ※屋内 (2) ARナビの体験会 ※屋外 <ul style="list-style-type: none"> ルート①：南大沢駅前～フレスコ南大沢 ルート②：南大沢駅前～アウトレットパーク (3) ARナビに関するアンケート・意見聴取 ※屋内 <p>※ (1) 及び (2) のプログラムは屋内で実施し、ARナビの体験時のみ屋内で実施を想定</p>

(参考) ARナビ (3Dマップ) 体験会 (社会福祉法人) の模様

2023年2月3日 (金) 13時よりARナビ体験会を開催。社会福祉法人にご協力いただき、ARナビの2ルートを実験いただくとともに、アンケート・ヒアリングを実施。概ね満足との声を頂いた

ARナビ体験会の様子



- B
- A) 体験会では車椅子をお使いの方に、実際に南大沢駅からフレスコ南大沢/アウトレットパークまでの2ルートを実際に体験いただいた
- B) 参加者のスマートフォンにアプリをダウンロード頂き、実際に操作頂いている模様
- C) 実際にARナビによるルート案内を実施している画面

参加者の声 (主なものを抜粋)

総評

- 『ARナビの有用性を感じた。今後、ルートの種類や表示方法、表示される情報が充実していけばよりよいサービスになると思うし、生活の中で利用してみたい』との声を頂き、ARナビは「概ね満足」との回答を得た

良かった点

- 実際の風景に重なる形で矢印が表示されることから、ナビ開始時(初動)に自分がどちらに向かえばいいのかわからずに迷わずに済むのがよい
- 初めて訪れようとする施設の場合、あらかじめ施設の設備(エレベーターやトイレなど)を調べてから出かける場合が多い。一方でARナビでこうした情報が表示されるのであれば、事前に調べずとも気軽に出かけることができてよい
- 今回は施設の満室情報が表示されていたが、こうした施設情報は有用。災害時にも役立つと思う
- ARを使ったルート案内は有用なだけでなく面白かった。また使ってみたくなる

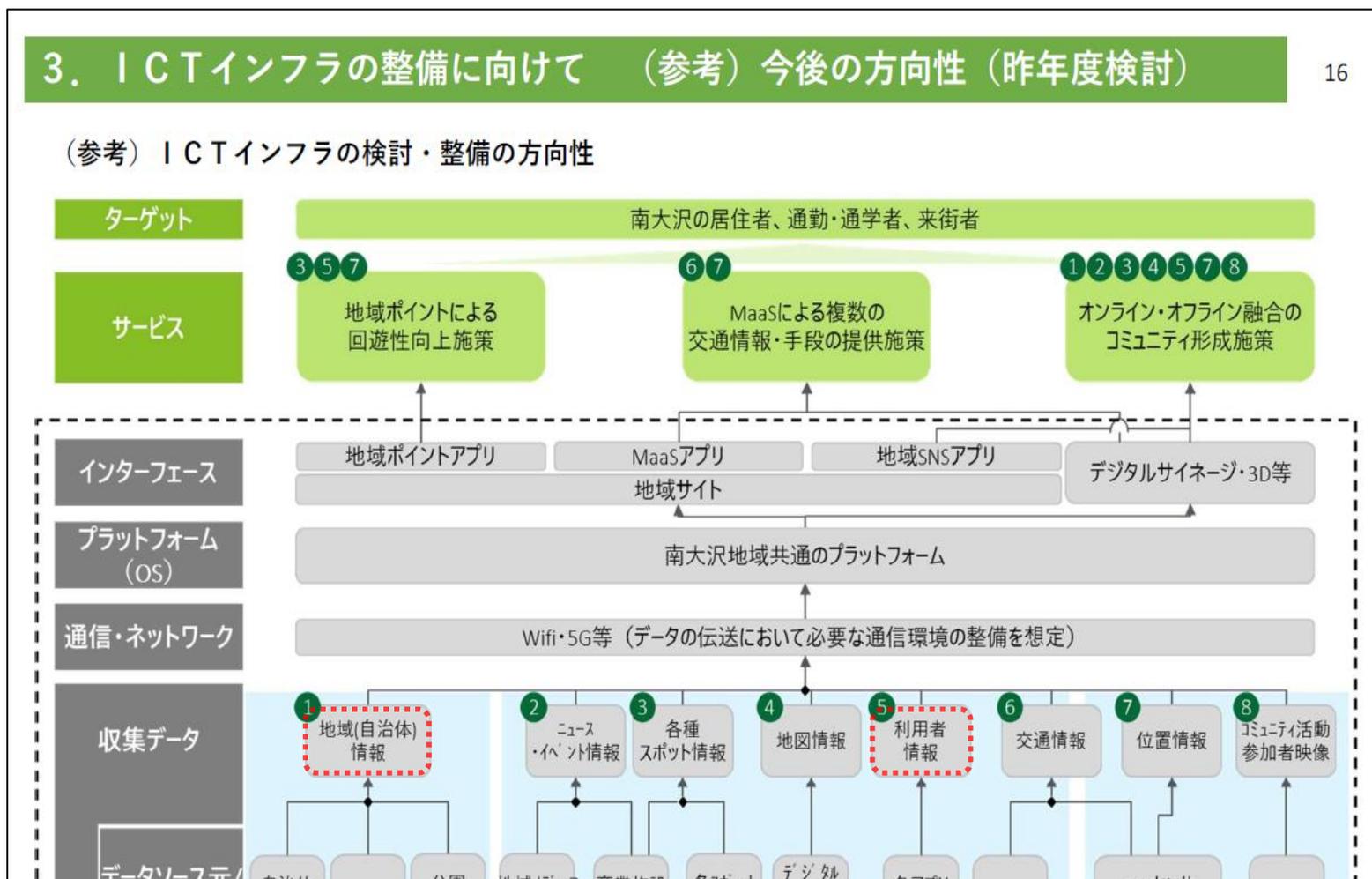
改善点

- 例えば①屋根がある(雨に濡れない)、②エレベーターを利用する、③距離は長くなるが上りの傾斜が少ないなど、様々なルートを出し分けられるとよい
- 目的地までの距離に加え、目的地までの行程のうち自分がいまどこにいるかわかるとよい
- ARナビに集中するが故に、道路のちょっとした凹みやゴミに気づかず進んでしまう可能性もあるので注意したい
- スマートフォンを持ち続けるのは大変。今後ARグラスのようなデバイスが出てくると使い勝手がよくなると感じる

4.社会実装に向けた施策（ICTインフラ構築）の検討

ICTインフラ構築の目的（提供価値）

ICTインフラを構築・提供することで、各種サービス（アプリ）を個別に開発・提供するだけでは実現が難しい利便性の向上や新サービス・機能の提供、ビジネス機会拡大とマネタイズを実現させていく



- 地域課題の解消を念頭に3つのサービス企画を構想

サービス単独でなく
なぜICTインフラが必要か？

- ① 個々のサービスを連携させ利便性を向上させるため
- ② 将来的にはパーソナルデータも扱うことで利便性を更に向上させるため
- ③ 新たなサービスや機能を比較的 low コストで提供できる拡張性を確保するため
- ④ ビジネス機会を拡大してマネタイズを実現するため

4.社会実装に向けた施策（ICTインフラ構築）の検討

ICTインフラ構築にあたっての主な論点に対する情報部会としての対応方針（案）

最終的にはパーソナルデータを活用したサービス提供を目指しつつも、R5年度時点ではまずはオープンデータの取り扱いを可能とするICTインフラの構築を進めていくことを想定

ICTインフラで扱うデータの深さはどこまでを志向するか？

- 初期はオープンデータの取り扱いから開始しつつも、最終的にはパーソナルデータまで取り扱うことを目指す（南大沢という狭域でサービスの価値を上げるには、パーソナルデータを活用したサービスが必要）

ICTインフラとしてのサービス提供をどこまで行うか？

- 初期にICTインフラと連携するサービス群側の要件も見据えつつ、ICTインフラとして具備すべきサービスを定義
- 実現に向けたロードマップを描く

ICTインフラの構築パターン

- 初期はオープンデータの取り扱いを可能とするICTインフラの構築を先行させ、将来的にはパーソナルデータの取り扱いに併せてICTインフラの機能を拡張

ICTインフラにおけるデータ管理のパターン

- 基本は分散管理でのデータ管理を志向しつつも、サービスの要件によっては集中管理（南大沢エリアのICTインフラで保持）することも想定
- 既存のサービスやプレーヤーが保持するデータすなわちICTインフラ以外で準備されたデータについてはそれらをICTインフラ側が参照する。ICTインフラで左記のデータを加工したものや独自に準備したデータについてはICTインフラ側で管理する

4.社会実装に向けた施策（ICTインフラ構築）の検討

サービスに関する検討状況とICTインフラ検討へのインプット

サービス企画に関する部会での討議概要

- ① 複数の交通手段を提供する取り組み（電動キックボード等）については引き続き推進していく
- ② 駐車場の満空情報等の提供については実現に向けた実施主体およびサービスの具体化を進めていく
- ③ Webチケットやデジタルマップについては、まずはユーザーのニーズの確認や実施主体の検討を中心に継続検討する

- ① デジタルサイネージは南大沢エリアでの継続実施を視野に課題やビジネス観点（広告料等）の検討を推進する
- ② 駐車場の満空情報（動的データ）・場所（静的データ）等のローカルデータ提供については実現に向けた実施主体およびサービスの具体化を進めていく
- ③ 施設予約機能をはじめとした交流・施設利用機能の提供については実現に向けて、まずは実施主体およびサービスの具体化を進めていく
- ④ コミュニティスペースの提供は既存の類似サービスでも種々の課題があることを踏まえて、まずは実施主体およびサービスの具体化を進めていく

R5年度時点でのICTインフラ構築に向けたインプット

モビリティ

A) 既存の各種サービスや外部データとICTインフラとがデータ連携できる仕組みを持つこと

- ・ 電動キックボードや電動シェアサイクルなど、既存のサービスとAPI連携できる仕組みを持たせる

まちの賑わい

B) (ア) デジタルサイネージによるコンテンツ提供、(イ) 交流・施設利用データ提供、(ウ) 駐車場の満空情報等の提供をICTインフラで提供できること

- ・ (ア) は地域や行政/商業コンテンツを提供できるよう、コンテンツのマネジメント機能を有すること
- ・ (イ) は施設やコミュニティ・サークルのデータをICTインフラに連携・マネジメントできるよう、まずは必要なデータを集約すること
- ・ (ウ) は複数の駐車場システムやセンサー・カメラ等からのデータをICTインフラへ連携・マネジメントできる機能を有すること

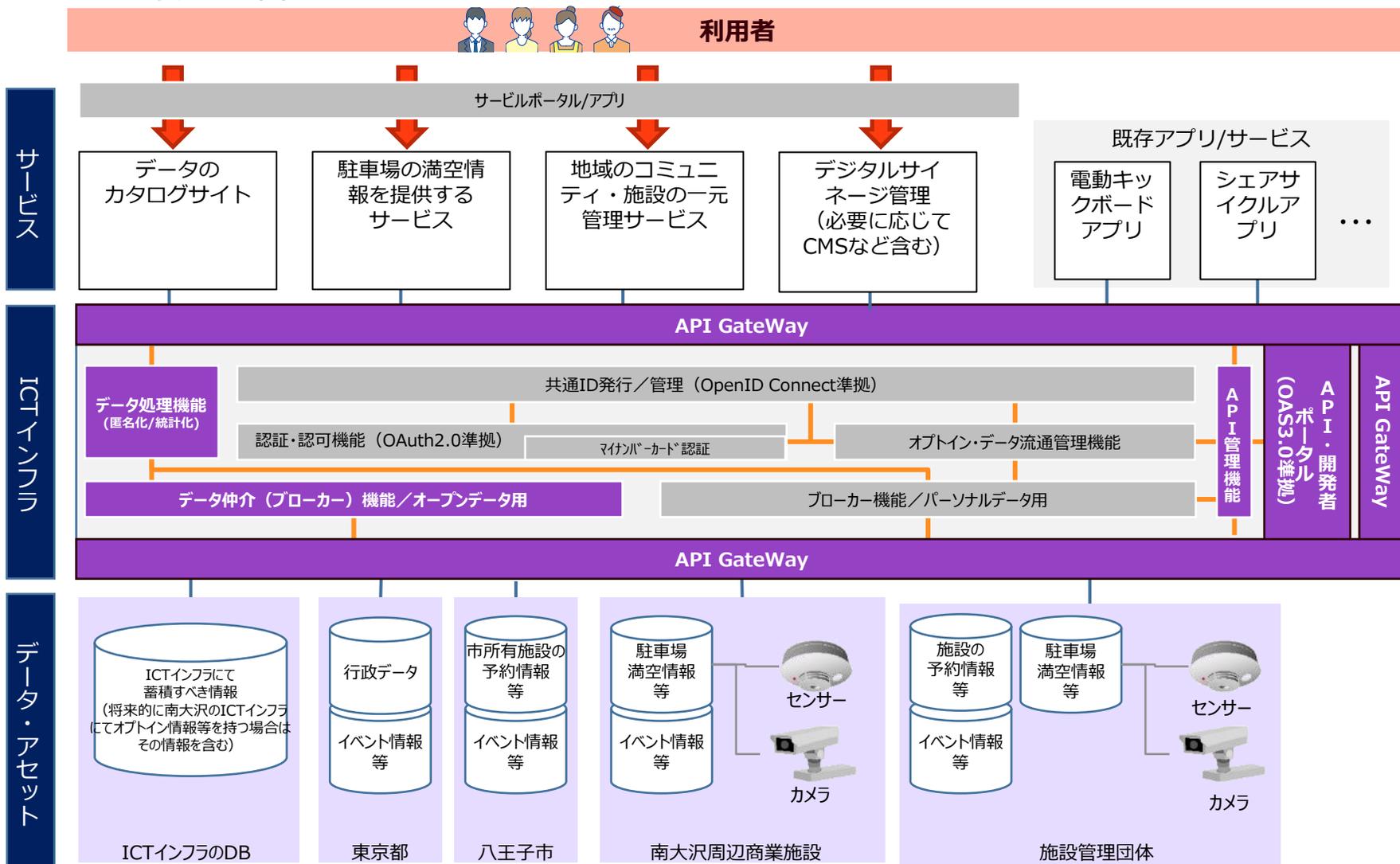
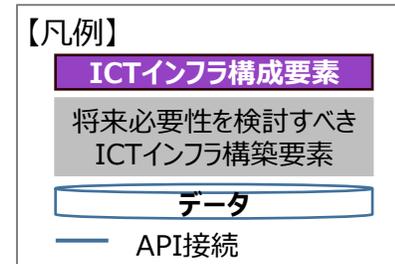
情報・その他

C) 今後のサービス追加、ICTインフラそのものの機能拡張が容易な構造とすること

4.社会実装に向けた施策（ICTインフラ構築）の検討

ICTインフラの機能全体像（案）

モビリティ部会・まちの賑わい部会で検討しているサービスを踏まえると、R5年度時点ではAPI接続の管理、データ仲介に関する機能が必要になると想定。



B) 交通サービスやアプリ、デジタルサイネージのコンテンツや交流・施設利用データ、駐車場の満空情報等をICTインフラで提供できる機能を構築

A) 各種サービスや外部のデータがICTインフラとデータ連携できる仕組みとしてのAPIの整備

C) 将来的には共通IDやオプトインによるデータマネジメント機能等の実装も目指し、これらも含めた全体像を構想

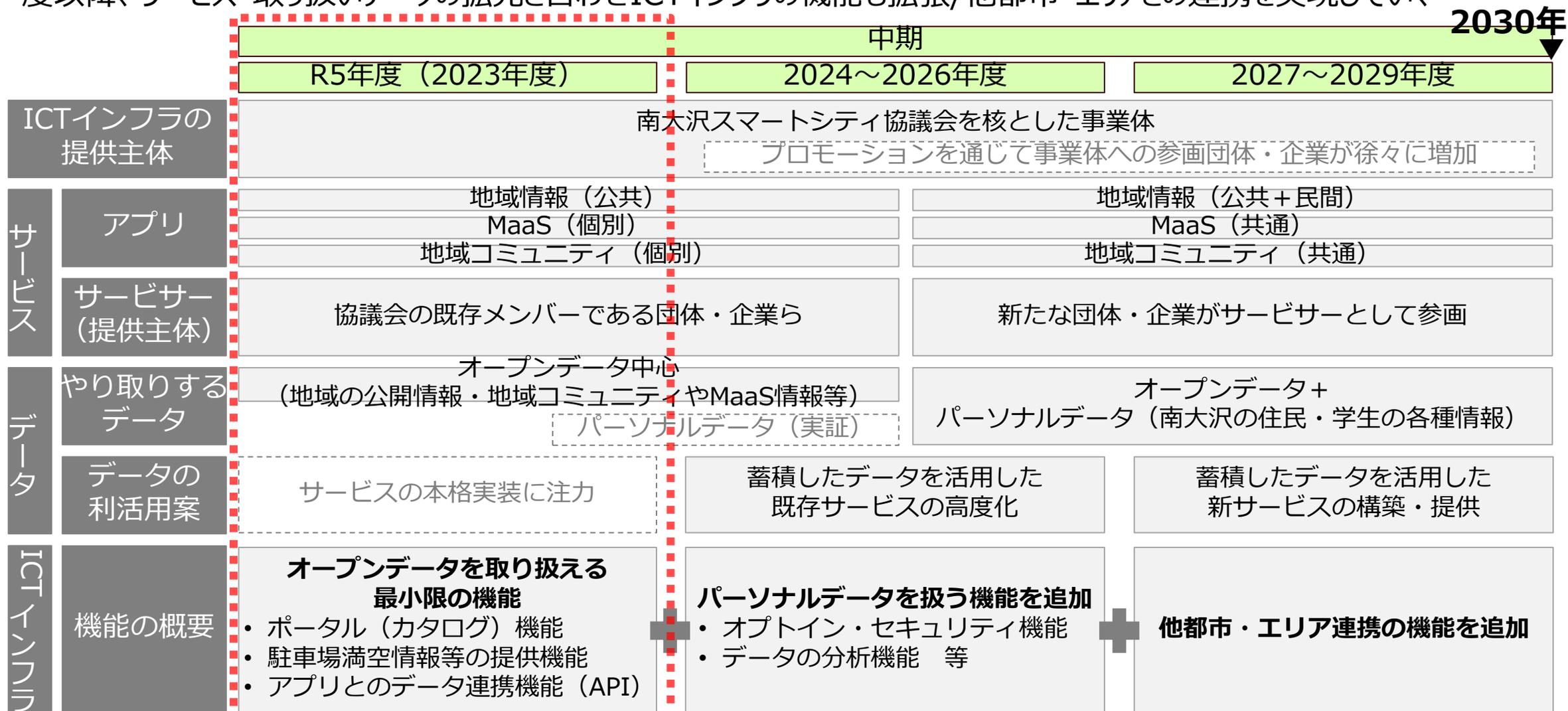
✓ 1つのIDで様々なサービス・機能が利用可能となり利便性が向上する共通ID機能

✓ 本人同意に基づくパーソナルデータの連携・利便性の向上に資するオプトイン機能 等

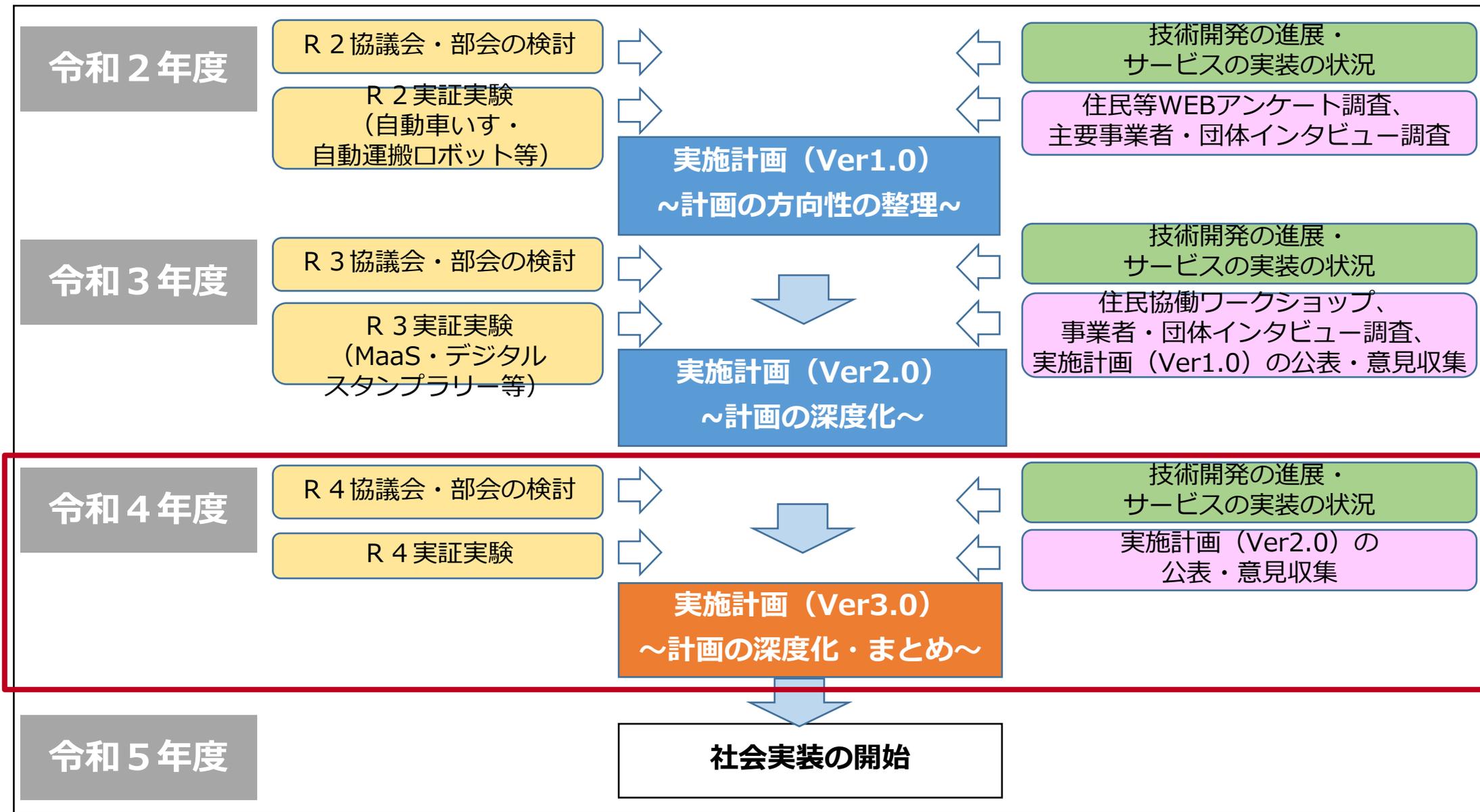
4.社会実装に向けた施策（ICTインフラ構築）の検討

（参考） ICTインフラ構築のロードマップ（案）

R5年度（2023年度）時点では、最小限のサービスと連携したオープンデータを扱うICTインフラの構築に着手。2024年度以降、サービス・取り扱いデータの拡充と合わせICTインフラの機能も拡張/他都市・エリアとの連携を実現していく



5.南大沢スマートシティ実施計画（Ver 3）の中間まとめ 南大沢スマートシティ実施計画の改定



5.南大沢スマートシティ実施計画（Ver3）の中間まとめ 実施計画Ver3 構成（案）

R4年度の取り組みを踏まえ実現イメージ・実証実験・運用体制を中心にVer2を更新。ICTインフラは新章を追加する。

R3年度 実施計画（Ver2）

1. 概要	• 背景・目的、本協議会の対象範囲、検討の流れ
2. 地域の概況	• 地域の概況とテーマ別の現況
3. 地域のニーズ	• Webアンケート、ワークショップ、インタビュー結果
4. 地域の将来動向・計画	• 南大沢および東京都・八王子市の将来計画
5. 地域の課題	• テーマ別の現況・ニーズ・将来動向を踏まえた課題
6. スマートシティの今後の方向性	• スマートシティの将来像（ビジョン・コンセプト）
7. 実現イメージとロードマップ	• 実現イメージとロードマップ
ICTインフラに関しては章を設けず	
8. 実証実験	• R2/R3年度の実証実験の内容・結果
9. 実施・運用体制イメージ	• R5年度以降の実施・運用体制構築に向けた論点
10. 今後の展開と課題	• R4年以降の協議会課題
補足.実施計画（Ver1）への意見と対応	• パブコメの概要と対応方針
参考資料	• 先進事例、各検討の詳細

R4年度 実施計画（Ver3）の構成案と主な更新・追記箇所

1. 概要	• 基本的にはVer2を踏襲
2. 地域の概況	• 基本的にはVer2を踏襲 • データの更新・補足の分析追加、内容の見直し等 を適宜更新
3. 地域のニーズ	• 基本的にはVer2を踏襲
4. 地域の将来動向・計画	• 基本的にはVer2を踏襲 • 関連する将来計画等（まちづくり方針等） を追加・更新
5. 地域の課題	• 基本的にはVer2を踏襲 • 「その他の課題」のコロナ禍に関する記載を更新、駐車場の課題を追加
6. スマートシティの今後の方向性	• ビジョン・コンセプトはVer2を踏襲 • R4年度の実証事業ならびにサービス企画で扱った施策 を適宜追加
7. 実現イメージとロードマップ	• ①MaaS、②オンライン・オフライン融合コミュニティ形成、③地域ポイント、④その他（駐車場満空情報等）の 具体イメージとロードマップ を追加
8. ICTインフラの方向性 新章	• ICTインフラ構築の目的、構築に向けた主要論点とサービス側からの要件、左記を踏まえた全体像と実現ロードマップ を新規追加
9. 実証実験	• R4年度の実証事業（電動キックボード・デジタルサイネージ・ARナビ）の概要と検証結果 を追加
10. 実施・運用体制	• R4年度以降の運営体制の概要 を追加
11. 今後の展開と課題	• 今後の課題について 追加すべきトピックを（適宜で）追加
補足.実施計画（Ver2）への意見と対応	• 実施計画Ver2に対するパブコメの概要と対応方針 を追加
参考資料	• 先進事例（会津若松スマートシティ等）・各検討内容の詳細等 を追加

5.南大沢スマートシティ実施計画（Ver3）の中間まとめ 実施計画Ver3 改定のポイント（1/2）

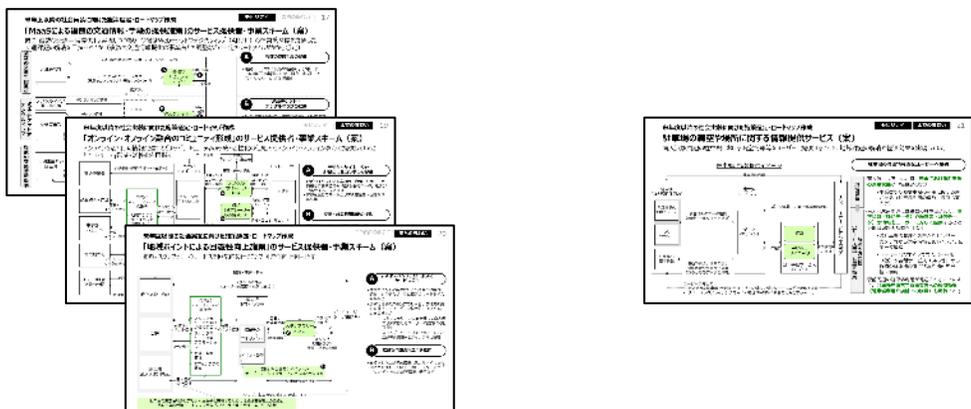
7.実現イメージとロードマップでは、4つのサービスにつき具体的なイメージを追加

8.ICTインフラの方向性では、新章を追加しICTインフラの構築目的・提供価値・全体像およびロードマップ等を追加

7.実現イメージとロードマップ

改定のポイント

- 実施計画Ver2で定義した直近での取り組み事項をまとめた3つのサービス企画（①MaaS、②オンライン・オフライン融合のコミュニティ形成、③地域ポイント）についてイメージを具体化
- また地域課題に基づき④駐車場満空情報等の提供サービスについてもイメージを具体化
- 上記の4つのサービスについてR5年度以降のロードマップを更新・追記



- ①MaaS、②オンライン・オフライン融合のコミュニティ形成、③地域ポイントは実施計画Ver2で定義したサービス企画に基づき**具体化したイメージを追加**

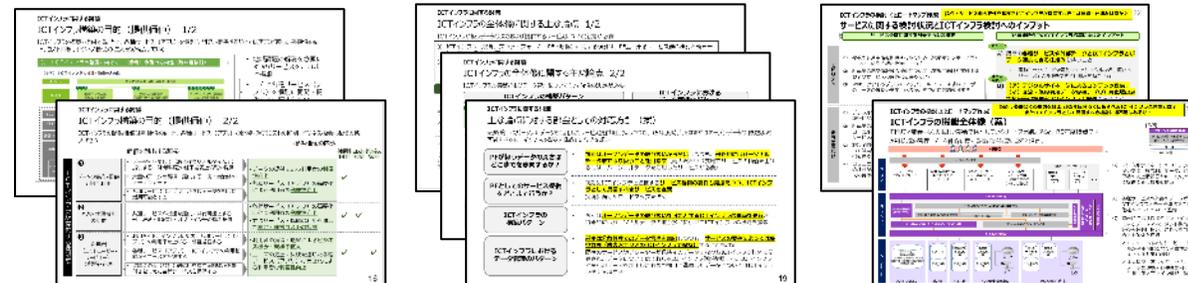
- ④駐車場の満空情報等を提供するサービスは地域課題とともに**具体化したイメージを追加**
- 事業者との懇談結果も追記を予定（今後、作成）

- 上記4つのサービスイメージについて**R5年度以降のロードマップ**（今後、作成）を定義

8.ICTインフラの方向性

改定のポイント

- ICTインフラに関しては新章を追加
- 主に①ICTインフラ構築の目的と提供価値、②ICTインフラ構築に向けた主な論点と対応方針、③サービス企画の具体的なイメージを踏まえICTインフラで具備すべき主な機能、④R5年度時点でのICTインフラの全体像、⑤ロードマップを追加



- ①ICTインフラの構築目的として**利便性向上、コスト抑制、ビジネス拡大**を定義

- ②ICTインフラ構築に向けた主な論点として**パーソナルデータの扱いと提供機能、構築ステップ、データ管理方針**を定義

- ③ICTインフラで**具備すべき機能**と④**R5年度時点でのICTインフラの全体像**を定義

- ⑤**2030年を見据えたICTインフラの構築ロードマップ**を定義



5.南大沢スマートシティ実施計画（Ver 3）の中間まとめ 実施計画Ver3 改定のポイント（2/2）

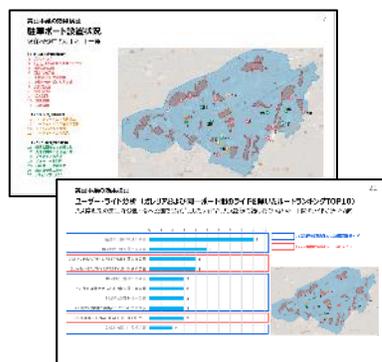
9.実証実験では、3つの実証事業の概要と効果を追加

10.実施・運用体制イメージでは、R5年度以降の実施・運用体制を追加

9.実証実験

改定のポイント

- R4年度に実施した3つの実証事業について実証の概要と効果検証を追加
 - 電動キックボード
 - デジタルサイネージ
 - ARナビ



- 電動キックボードの実証概要と効果検証結果を追記

- デジタルサイネージの実証概要と効果検証結果を追記

- ARナビの実証概要と効果検証結果を追記

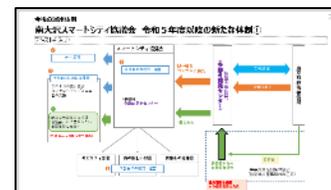


- 上記3つの実証事業についてR5年度以降のロードマップ（今後、作成）を定義

10.実施・運用体制

改定のポイント

- R5年度以降の実施・運用体制を追加
 - R5年度時点の運用体制の概要
 - R5年度以降の協議会・部会による実証事業や社会実装、ICTインフラの構築に際して必要な費用の負担/獲得方法などを追記



- R5年度以降は協議会事務局を第三者に委託し、①協議会での検討・運営、②PR・広報、③社会実装に向けた調整を実施することを追記
- 実現ロードマップを追記

- 新たな先端技術の検証やICTインフラ構築・運用に必要な費用の負担/獲得方法などを追記（今後、作成）

7.過年度実証のフォローアップ

先端技術の実装化に向けて（過年度の実証実験のフォローアップ）※前回からの変更点

	実験	現状	課題	関連する事業者・管理者意向	今後の対応（予定）
R2	自動運転 車椅子 	・大規模施設（空 港・病院等）での活 用	・屋外利用（路面・天候） ・安全性の確保 ・歩行者への認知度向上 ※公道走行は規制緩和	・サービスを導入する事業 者が必要 ・公道でのニーズはあまり ない（屋内施設はあり）	○自動運転椅子を含め、他 の高齢者等の移動手段につ いて幅広く検討
	自動運搬 ロボット 	・商業施設・業務施 設・工場での活用	・屋外活用（路面・天候） ・事業の収益性 ・安全性の確保 ※公道走行は規制緩和	・サービスを導入する事業 者との共同なら可能性あり ・地域との連携や計画の位 置づけによる実施に期待	○業務・商業施設での検 討・調整 ○実証による検証・P R
	アバター ロボット 	・商業・観光・業務 等の多様な施設での 活用	・通信環境の安定性 ・屋外での活用（路面状 況・天候）	・業務利用が多い ・公共（防災・福祉）、大 学（教育・相談）もあり ・費用補助があれば可能	○引き続き、利用シーンや 活用方法を検討
R3	Maas （一部 実装化） 	・全国の多様な地域 で実施（観光・医療 等） ・南大沢で継続して 一部実装化	・利便性・操作性の向上 ・システムの高度化（検 索・決済） ※チケット販売システムは リニューアル	・利便性向上・システム改 修を検討 ・他交通サービスとの連携 （予約）、地域情報の配信	○システムの操作性向上・ 高度化（検索・決済等） ○他交通サービスとの連携 検討（キックボード、地域 情報等）
	電動 シェア サイクル （実装化） 	・都心部を中心に実 施、多摩地区は駅周 辺で実施 ・南大沢で実装化	・車両が少ないポートへの 再配置 ※利用実績は良好（市で駅 前が最も多い。通勤・通学 利用、年齢・性別は均等）	・利用状況をモニタリング し、継続して実施	○ポート見直し・最適化 ○他交通サービスとの連 携・分担（バス・キック ボード等）
	デジタル スタンプ ラリー 	・デジタル技術の活 用は先進的	・他イベントとの連携 ・広報P Rの充実	・市と実施中の健康ポイン トサービスの展開は可能性 あり	○既存サービス（健康ポイン ト等）との連携検討 ○商業施設等との連携（イ ンセンティブ等）

参考資料

参考資料①：各部会の振り返り

参考資料②：社会実装に向けた施策の検討

参考資料①：各部会の振り返り

各部会の振り返り（第3回モビリティ部会）

委員の皆様からいただいた意見を今後の協議会運営に生かしていきます

部会委員からのご意見

実証事業

- バス停近接のレポートが多いとあったが、ラストワンマイルとして利用されているか（バスの乗継ぎがされているか等）をアンケートやバス発着時間との関係分析等で確認する必要がある。
- 利用者の年齢や利用時間帯についても詳細に分析する必要がある。

来年度以降の実装に向けた施策選定

- 地域MaaSサービスは、ユーザー目線によるサービスの必要性・利用のメリットも含めて検討を進める必要がある。
- モビリティ部会によるサービス検討は、情報・その他部会にて議論されているICTインフラの検討と並行して実施する必要がある。
- モビリティに関する直近検討するサービスについて、電動キックボード、シェアサイクル等の既存アプリ間の連携について検討するのがよいと考える。
- サービス検討については、南大沢地域における現状のニーズだけでなく、5年後、10年後のニーズについても踏まえる必要がある。

その他

- 法律改正の施行時期や個人購入のキックボード・原付・自転車と交通ルールが異なることから、歩行者や他車両とのトラブル発生が懸念される。



部会としての対応（案）

実証事業

- ラストワンマイルとして利用されているか（バスの乗継ぎがされているか等）をアンケートにて確認する。
- 利用者の年齢や利用時間帯について情報取得可否を確認のうえ、可能な場合は分析する。

来年度以降の実装に向けた施策選定

- 地域MaaSサービスは、ユーザー目線によるサービスの必要性（ニーズがどこにどの程度あるか）・利用のメリットも含めて検討を進める。
- サービス検討は、駐車場などまちの賑わい部会にも関連するものやICTインフラなど情報・その他部会に関連するものがあり、両部会にて並行して検討する。
- 電動キックボード、シェアサイクル等の既存アプリ間の連携について情報・その他部会でも並行しながら検討する。
- サービス企画の具体化にあたっては、過去2か年で収集したニーズのみならず、将来的なニーズも念頭に置きながら、引き続き検討を進める。

その他

- 電動キックボード利用者への交通ルール順守に関する取り組みは、事業者が自治体等とも連携しながら実施していく。

参考資料①：各部会の振り返り

各部会の振り返り（第2回まちの賑わい部会）

委員の皆様からいただいた意見を今後の協議会運営に生かしていきます

部会委員からのご意見

実証事業

- アンケートだけでなく、事前にデジタルサイネージを見せたいうえで、ヒアリングしたほうが良い。
- 筐体については、チャージスポットであることは視認しやすい一方実証実験を実施していることが分かりにくい。

来年度以降の実装に向けた施策選定

- 施策案は、サービスの実施主体も含めて検討することが必要。
- コミュニティについてURの取組が事例として紹介されているが、コミュニティの担い手減少、またコロナ禍以降オフラインの取り組みの減少が発生している。同様の問題が発生することを踏まえて検討する必要がある。
- スマートシティの枠組みで実施しているからには、ICTインフラの構築についても留意が必要である。



部会としての対応（案）

実証事業

- ご覧になった方向けヒアリングやゼミの学生向けインタビューについて実施検討する。なお、アンケートは協議会参画団体のご協力もいただきながら収集・集計する。
- 南大沢スマートシティ協議会にて実証実験している旨がわかるよう、デジタルサイネージ上にポップを被せられるかを検討する。

来年度以降の実装に向けた施策選定

- 資料上では南大沢スマートシティ協議会が主体となる想定を置いている。今後、引き続きサービス企画の具体化を進めながら実施主体の詳細化を進める。なお、来年度以降の運用体制については第3回協議会以降で案を提示予定である。
- コミュニティに関する検討においては、同種の取り組みにおいて発生している課題や実現に際してのハードルを今後整理していく。
- まちの賑わい部会の議論を踏まえ、サービス側の要件を仮定しながら、ICTインフラとして具備すべき機能を情報・その他部会で検討する。

参考資料①：各部会の振り返り

各部会の振り返り（第2回情報・その他部会）

委員の皆様からいただいた意見を今後の協議会運営に生かしていきます

部会委員からのご意見

- ICT
インフラに関する討議
- 南大沢スマートシティの目的やICTインフラ構築へのメリットについて認識を深める必要がある。それと同時に全体のスケジュールを考えると**ICTインフラ具体化も並行して実施する必要**がある。
 - プラットフォームがパーソナルデータなど**どこまでのデータを使うのかについては、ビジネスプラン、ビジョンと合わせて考えていく必要**がある。
 - サービスについては電動キックボードなどの既存サービスをふまつつも、**将来的に提供が見込まれるサービスについても対応できるような機能**が必要である。
 - ICTインフラの魅力を高めるため、サービスのカタログだけでなく、**複数データを組み合わせることで価値を提供**できるようにすべき。
 - ICTインフラを**誰が運営管理していくのか、事業性という視点も検討が必要**である。



部会としての対応（案）

- ICT
インフラに関する討議
- 南大沢スマートシティ事業の目的や地域課題の解決を見すえたサービスの検討と並行し、ICTインフラの具体化を実施する。
 - サービスの検討はモビリティ部会・街の賑わい部会を中心に進める
 - ICTインフラの検討は情報・その他部会で進める
 - サービスの検討を通じてどこまでのデータを扱うかを検討する。その際、南大沢スマートシティ事業の目的や地域課題の解決も見据える。
 - 今後実装予定のサービスにも対応できるようなICTインフラとなるように検討する。
 - 直近では各種サービスの社会実装ならびにICTインフラの構築を進めつつ、将来的にはサービスを通じて蓄積されたデータを活用した新たなサービス創出や既存サービスの改善といった価値も実現していきたい。
 - 事業性については第三回協議会にてR5年度以降の体制について議論することから、左記も踏まえ引き続き議論する。

参考資料①：各部会の振り返り

各部会の振り返り（第3回情報・その他部会）

委員の皆様からいただいた意見を今後の協議会運営に生かしていきます

部会委員からのご意見

実証事業

- ARナビを使っていたくまでの案内についても検討する必要がある。
- アンケート回答にインセンティブがあるとよい。
- 実証事業実施後の南大沢へのサービスの定着に向けた施策についても検討する必要がある。
- 効果検証は安全性・利便性・地域適合性についてアンケートにて集計するだけでなく、ARナビ構築に際する3D都市データの利用について振り返り、ICTインフラにかかるデータ作成、利用について見地を得ることが重要。

来年度以降の実装に向けた施策選定

- ICTインフラは、他の都市OS構築事例と同様に産学官様々なステークホルダーがおり、連携を取りながら進めることが重要。
- 様々なジャンルの情報を集めるというよりは、例えば交通情報（駐車場の満空情報含む）など一つのジャンルの情報について集約し、それを利用したサービスにつなげるべき。それにはICTインフラ全体像のなかで、様々な事業者から連携いただいたデータを網羅的にまとめるデータ仲介機能がポイントとなる。

部会としての対応（案）

実証事業

- スマートフォンアプリによる案内をわかりやすくできないか検討する。
- インセンティブの実施可否について検討する。
- ARナビ体験会によるヒアリング事項等を踏まえ、来訪者向けサービス等施策を検討する。
- ARナビというサービスの安全性・利便性・地域適合性だけでなく、ICTインフラの構築やデータの利用についても見解が得られるように効果検証を進める。

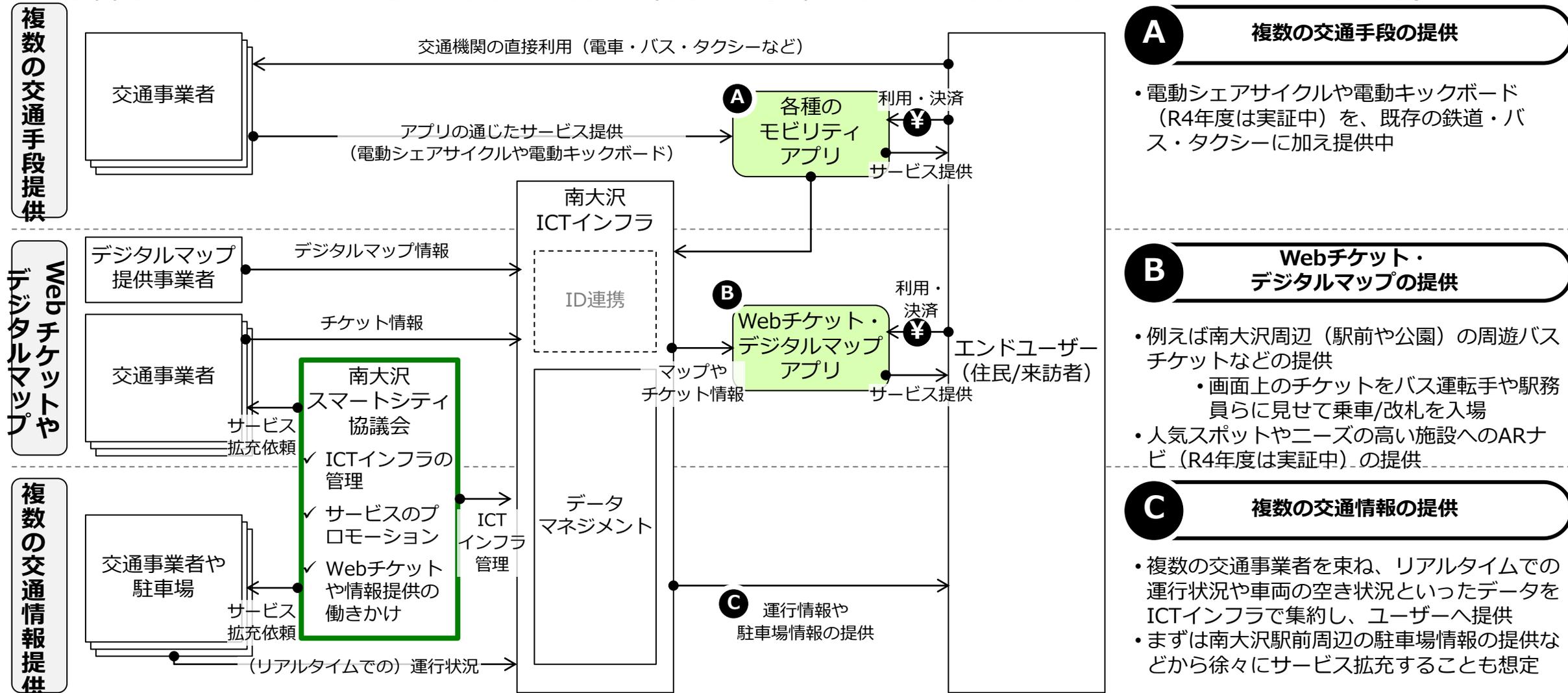
来年度以降の実装に向けた施策選定

- 産学官のステークホルダーと連携しながらICTインフラの検討・構築を進める。
- 例えば駐車場の満空や場所に関する情報提供サービスやそれと既存モビリティサービスとの連携するサービスなど、短期で実施するサービスを決定したうえでステークホルダーの協力のもと要件を具体化する。

参考資料②：社会実装に向けた施策の検討

「MaaSによる複数の交通情報・手段の提供施策」のサービス提供者・事業スキーム（案）

既に「複数の交通手段提供」は実現しつつあり、今後はWebチケットやデジタルマップ（ARナビ）の恒常的な提供を通じた交通課題の解消を目指すべきか（複数の交通情報提供は事業者との調整などで一定のリードタイムがかかる想定）



参考資料②：社会実装に向けた施策の検討

サービス企画（案）「オンライン・オフライン融合のコミュニティ形成施策」概要（昨年度検討）

1 今年度実証施策の方向性の検討

2 その他の短期施策の方向性の検討

サービス内容の具体化

まちの賑わい領域

サービス企画（案）～（1）オンライン・オフライン融合のコミュニティ形成施策～

社会実装の方向性（案）を踏まえ、サービス内容を具体化します

方向性（案） 地域SNS（デジタルマップ含む）を活用した、自治体・事業者・住民による地域情報の発信や交換、オンラインコミュニティの形成と、コミュニティスペースを活用したオンライン・オフライン融合のコミュニティイベントの開催、地域SNS掲載情報のデジタルサイネージ上での地域一体となった発信

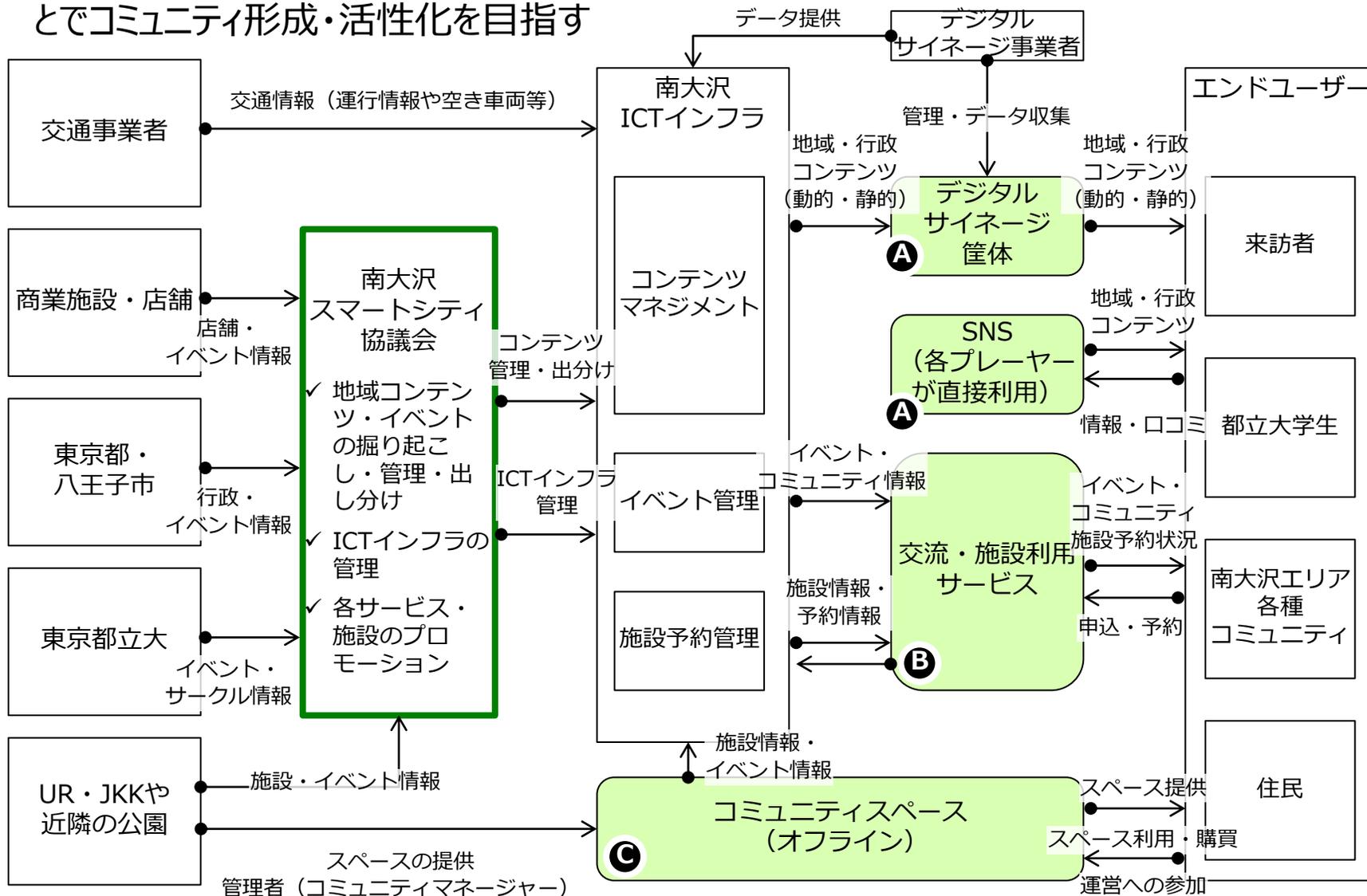
凡例
 →：サービス
 →：金
 →：その他

企画概要		サービスイメージ	
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> 南大沢の居住者、通勤・通学者 	自治体・事業者等	
提供価値	<ul style="list-style-type: none"> 自治体・事業者・住民からの様々な地域情報を1つのサイトで入手可能 オンライン・オフライン融合のコミュニティ形成が可能 	デジタルサイネージ	
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域SNS（デジタルマップ含む）を活用した、自治体や地域メディア運営会社等の既存サイトと連携したニュースの発信、商業施設や鉄道会社、公園管理者等によるスポットやイベント情報の発信、ユーザーによる地域情報の発信、及びコミュニティ形成を実現 地域SNS掲載情報をデジタルサイネージに掲載し、デジタルサイネージ上でのデジタルマップを活用した地域情報の発信を実現 空き屋を活用したコミュニティスペースを開設し、地域SNS上でのオンラインコミュニティに加え、オフラインでのコミュニティ活動を実現 	地域SNS	
実装場所	<ul style="list-style-type: none"> 駅前、商業施設、公共施設（デジタルサイネージ）、住宅団地（空き屋） 	<h4>スキーム</h4>	
サービス提供者	1 実施主体	地域SNS運営事業者	サービス利用者 地域情報 イベント交流の場
	2 マップ提供	デジタルマップ運営事業者	
	3 情報提供	自治体、商業施設運営事業者、鉄道事業者、公園管理者、地域メディア運営事業者、その他地域の事業者	
	4 デジタルサイネージ運営	デジタルサイネージ運営事業者	
	5 実施主体	コミュニティスペース運営事業者	
	6 ティス空家提供	自治体、不動産事業者	
	7 イベント主催	自治体、地元事業者、地域団体等	

参考資料②：社会実装に向けた施策の検討

「オンライン・オフライン融合のコミュニティ形成」のサービス提供者・事業スキーム（案）

オンラインを活用した情報発信にとどまらず、コミュニティの形成・活性化の仕組みをオンライン・オフライン双方で提供していくことでコミュニティ形成・活性化を目指す



A デジタルサイネージや SNSによるコンテンツ提供

- 地域のイベントや商業施設・店舗・公園、生活情報等に関する情報（動的/静的データ）をデジタルサイネージで提供
- SNSを通じて南大沢エリアの事業者・団体が情報発信

B 交流・施設利用機能の提供

- 地域のコミュニティや大学のサークル、各種イベントやメンバー募集の情報を集約・提供
- 施設（体育館や集会所等）の施設予約機能を提供
- 例えば地域のスポーツサークルと都立大のサークルによる交流会などの開催を促す

C コミュニティスペースの提供

- 例えば団地内にカフェや多目的スペースを設け、住民や学生が利用者にとどまらず、運営側に参加しながらコミュニティを形成・活性化

参考資料②：社会実装に向けた施策の検討

サービス企画（案）「地域ポイントによる回遊性向上施策」概要（昨年度検討）

1 今年度実証施策の方向性の検討
サービス内容の具体化
まちの賑わい領域

2 その他の短期施策の方向性の検討
まちの賑わい領域

サービス企画（案）～（2）地域ポイントによる回遊性向上施策～

社会実装の方向性（案）を踏まえ、サービス内容を具体化します

方向性（案） ウォーキング等の外出時の移動や地域活動、デジタルスタンプラリー等のイベントへの参加に伴う地域ポイントの付与と貯まったポイントのデジタルタイムセール参加店舗等での利用を可能とするアプリを活用したサービスの提供

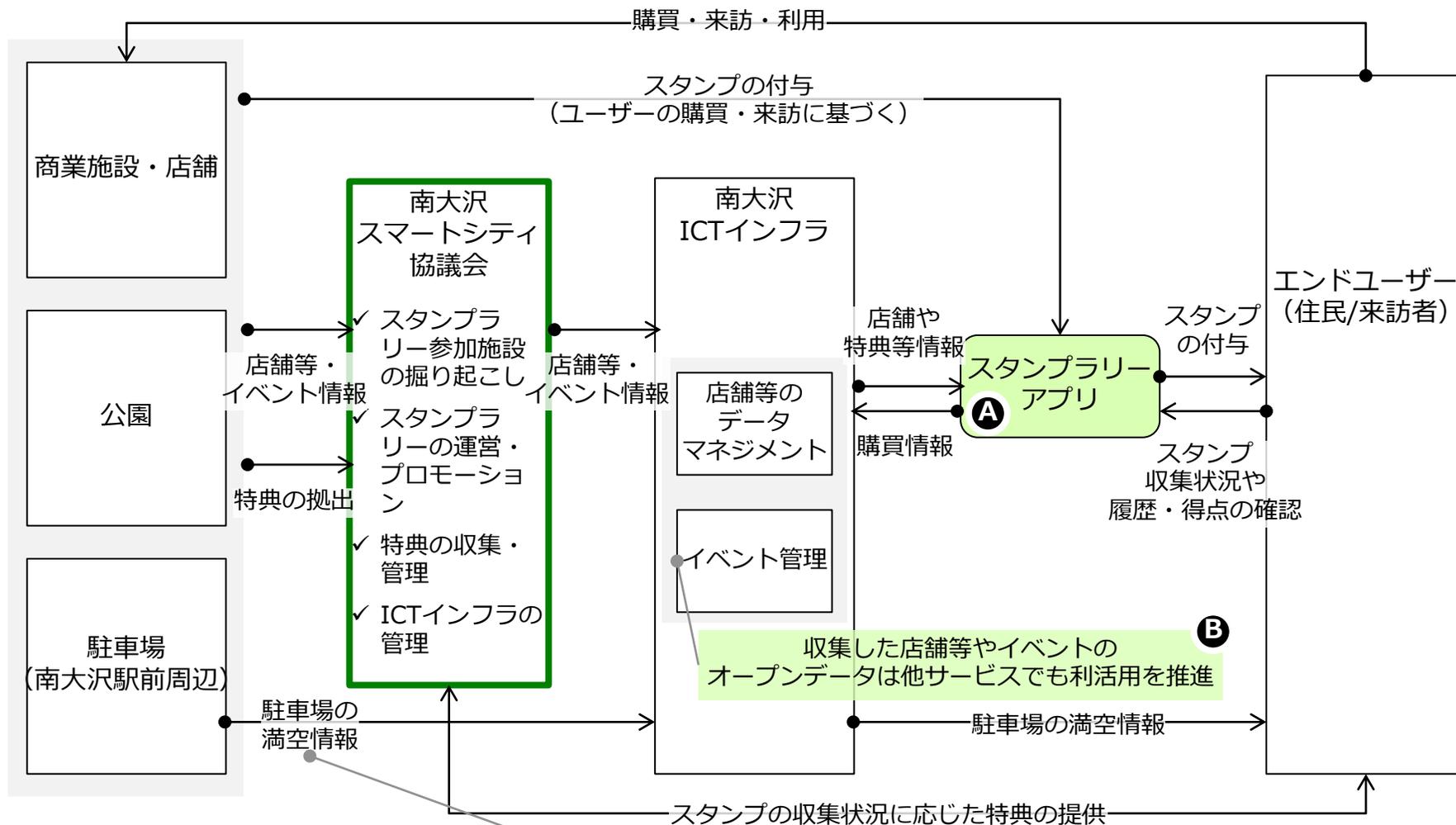
凡例
 →：サービス
 →：金
 →：その他

企画概要	サービスイメージ																		
<p>ターゲット</p> <ul style="list-style-type: none"> 南大沢の居住者、通勤・通学者 																			
<p>提供価値</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の活動を通じて貯まった地域ポイントを地域店舗で使うことによる利用者の回遊性向上 不要な在庫をタイムセール商品として店舗周辺のアプリ利用者へ告知することによる店舗の商品廃棄量削減 	<p style="text-align: center; background-color: #4CAF50; color: white; padding: 5px;">スキーム</p>																		
<p>サービス内容</p> <ul style="list-style-type: none"> サービス利用者の地域ポイントの運用（付与・利用）を可能とするアプリを開発 アプリ利用者はウォーキングや地域イベントへの参加、ボランティア活動への参加等に応じて市内店舗で利用可能な地域ポイントを獲得 貯めたポイントは地域内の各種店舗での商品購入に利用可能 																			
<p>実装場所</p> <ul style="list-style-type: none"> 商業施設、公園、介護・福祉施設、公共施設 等 																			
<p>サービス提供者</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td>実施主体</td> <td>アプリ運営事業者</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>地域情報</td> <td>自治体</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>ポイント主催</td> <td>デジタルスタンプラリー運営事業者 等</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>地域活動</td> <td>自治体、介護施設、福祉施設、病院・診療所 等</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td>スポンサー</td> <td>地域の事業者</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td>協力店舗</td> <td>商業施設、飲食店舗、小売店舗 等</td> </tr> </table>	1	実施主体	アプリ運営事業者	2	地域情報	自治体	3	ポイント主催	デジタルスタンプラリー運営事業者 等	4	地域活動	自治体、介護施設、福祉施設、病院・診療所 等	5	スポンサー	地域の事業者	6	協力店舗	商業施設、飲食店舗、小売店舗 等	
1	実施主体	アプリ運営事業者																	
2	地域情報	自治体																	
3	ポイント主催	デジタルスタンプラリー運営事業者 等																	
4	地域活動	自治体、介護施設、福祉施設、病院・診療所 等																	
5	スポンサー	地域の事業者																	
6	協力店舗	商業施設、飲食店舗、小売店舗 等																	

参考資料②：社会実装に向けた施策の検討

「地域ポイントによる回遊性向上施策」のサービス提供者・事業スキーム（案）

まずはスタンプラリーのサービスを恒常的に行うことで回遊性向上を目指す



駐車場の満空情報のリアルタイム提供を実現するためには施設管理者との協議と情報共有の仕組み・インフラ整備が必要 →次頁で実現イメージを定義

A まずはスタンプラリー形式でサービス提供

- ・地域ポイントの実現にはその原資の獲得や仕組み・システムづくりに相応のリードタイムがかかる
- ・まずは地域のスタンプラリーおよび特典の提供を柱としたサービスを恒常的に提供することを目指すか
 - ・スタンプラリーの実施を通じて南大沢エリアにおけるユーザーの購買状況を可視化
 - ・スタンプラリーの拡充と軌を一にして店舗等の情報をICTインフラに蓄積

B 店舗等情報の利活用を推進

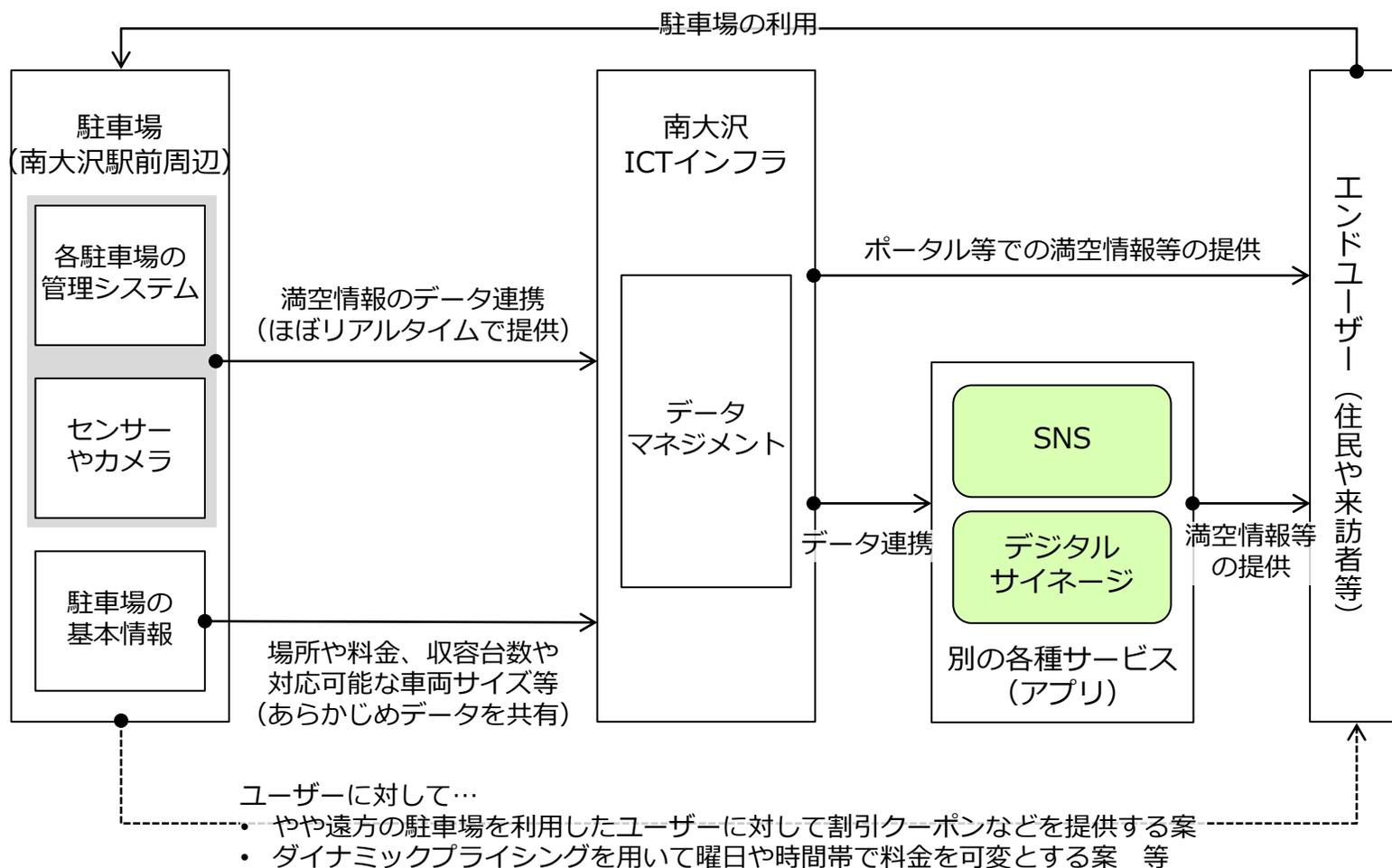
- ・蓄積された店舗等の情報は他のサービスでも利活用を推進していく (例) デジタルマップ (ARナビ) での店舗等情報の表示など

参考資料②：社会実装に向けた施策の検討

駐車場の満空や場所に関する情報提供サービス（案）

南大沢駅周辺の駐車場における満空情報等をユーザーに提供することで、地域課題の解消や経済効果を実現していく

駐車場の情報提供イメージ



駐車場の満空情報等をユーザーへ提供

地域課題

- 南大沢エリアでは、特に**週末における駐車場の満車状態**が地域課題の1つ

- 事業者からも駐車場の利用に関する声がある (駐車場利用の偏り、場所の案内等)

- 南大沢駅前周辺には複数の駐車場があり、**満空情報 (動的データ) や場所等 (静的データ) の情報をユーザーに対して提供**することで地域課題の解消を目指す

(サービス案) と想定効果

- 各駐車場の管理システムやセンサー・カメラ等から満空情報をICTインフラにデータ連携
- ユーザーはICTインフラのポータル (仮) や各種サービス (SNS等) から近隣の駐車場の満空状況や場所を把握・利用

- 駅前周辺の駐車場利用が促進されることにより、**駐車場を運営する事業者への経済効果 (駐車場利用や店舗での購買) も期待**される